

フェリス女学院大学学則

第1章 目的及び使命

(目的及び使命)

第1条 本学は、キリスト教を教育の基本方針となし、学問研究及び教育の機関として、女子に高度の教育を授け、専門の学問を教授研究し、もって真理と平和を愛し、人類の福祉に寄与する人物を養成することを目的とする。

第1章の2 自己点検・評価

(自己点検・評価)

第1条の2 本学の設置目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について、不
断の自己点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 本学は、前項の自己点検及び評価の結果について、本学の職員以外の者による検証を行うよう努める。

3 自己点検・評価に関し必要な事項は、別に定める。

第2章 組織及び学生収容定員

(組織)

第2条 本学に次の学部・学科を置く。

- (1) 文学部 英語英米文学科 日本語日本文学科 コミュニケーション学科
- (2) 音楽学部 音楽芸術学科 演奏学科
- (3) 国際交流学部 国際交流学科

(学部の教育研究目的)

第2条の2 各学部の教育研究目的は、次のとおりとする。

(1) 文学部

人文科学の領域に関する高度の教育研究を行い、多様化する社会で他者と共生し、主体的に表現できる豊かな素養を身に付けた人材を養成する。

(2) 音楽学部

西洋音楽の根幹であるキリスト教音楽を基盤として、音楽の領域に関する高度の教育研究を行い、専門的な知識・能力・技術を持ち、かつ音楽界を多様に支える素養を兼ね備えた人材を養成する。

(3) 国際交流学部

国際交流の領域に関する高度の教育研究を行い、グローバル化の時代にふさわしい、専門分野の枠を越えた総合的知識を身に付けた人材を養成する。

(学生収容定員)

第2条の3 学生収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員	2 年 次 編 入 学 定 員	収 容 定 員
-----	-----	---------	--------------------	---------

文 学 部	英語英米文学科	90 名	—	360 名
	日本語日本文学科	90 名	—	360 名
	コミュニケーション学科	90 名	—	360 名
	計	270 名	—	1,080 名
音 楽 学 部	音楽芸術学科	45 名	—	180 名
	演奏学科	30 名	—	120 名
	計	75 名	—	300 名
国際交流学部	国際交流学科	197 名	4 名	800 名
合 計		542 名	4 名	2,180 名

(全学教養教育機構)

第2条の4 本学に全学教養教育機構を置く。

2 全学教養教育機構に関し必要な事項は、別に定める。

(大学院)

第2条の5 本学に大学院を置く。

2 大学院の学則は、別に定める。

第3章 授業科目

(授業科目)

第3条 本学の授業科目は、共通科目、専門科目及び教職に関する科目とし、その科目名及び単位数は、それぞれ別表第1、別表第2及び別表第3のとおりとする。

2 共通科目は、CLAコア科目及び語学科目とする。

(外国人留学生に関する授業科目)

第3条の2 前条のほか、外国人留学生を対象として別表第4のとおり日本語科目及び日本事情に関する科目を置く。

第4条から第8条まで 削除

第4章 履修方法、単位及び卒業の認定

(修業年限)

第9条 本学の修業年限を4年とする。

(在学期間)

第9条の2 在学期間は、8年を超えることができない。

2 第25条の2に規定する2年次編入学者の在学期間は、6年を超えることができない。

3 第25条の3に規定する3年次編入学者の在学期間は、4年を超えることができない。

(履修希望科目の届出)

第10条 学生は、毎学期始めに履修希望の授業科目を学部長に届け出て、その承認を受けなければならない。

2 休学期間中は、履修希望科目の届出はできない。

3 留学期間中は、履修希望科目の届出はできない。ただし、留学を終了した学期に願い出た者に

ついて、この届出を許可することがある。必要な手続及び条件については、別に定める。

(他学部他学科専門科目の履修)

第11条 学生は、他学部他学科の専門科目を履修することができる。

(単位認定試験)

第12条 単位の認定は、平常点評価及び試験によって行う。ただし、卒業論文、卒業レポート、卒業論文・卒業制作、卒業演奏、卒業研究及び卒業プロジェクトの単位の認定は審査によって行うものとし、必要に応じ、口頭試問を併せて行うことができる。

(受験資格)

第13条 学生は、履修授業科目について3分の2以上出席しなければ、当該授業科目の試験を受けることができない。

(単位の授与)

第14条 授業科目の到達目標を達成した者には、所定の単位を与える。

(入学前の既修得単位等の認定)

第14条の2 学生が入学前に修得した次の単位等については、教授会の定めるところにより、本学における授業科目の履修により修得した単位とみなし、又は与えることができる。

(1) 大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位

(2) 短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が大学教育に相当する水準を有すると認めた教育施設等における学修で本学が大学における授業科目の履修とみなした学修

2 前項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて60単位を超えないものとする。

(他の大学等における授業科目の履修)

第14条の3 本学の学生が他の大学等において修得した次の単位等については、教授会の定めるところにより、本学における授業科目の履修により修得した単位とみなし、又は与えることができる。

(1) 他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位

(2) 短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が大学教育に相当する水準を有すると認めた教育施設等における学修で本学が大学における授業科目の履修とみなした学修

2 前項第1号の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、本学において修得した単位以外のものについては、前条により本学において修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(成績評価)

第15条 授業科目の成績は、S、A、B、C、F、又は合格、不合格の7種類の評語をもって表わし、S、A、B、C、又は合格を合格とする。

(単位)

第16条 授業科目の単位の計算方法は、次の基準によるものとする。

- (1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 実技、実習及び実験については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。ただし、音楽学部における個人指導による実技については、別に定める。

第17条 削除

(卒業の要件)

第18条 卒業資格の認定を得るためには、本学に4年以上在学し、別表第5に定めるところにより卒業に必要な単位を修得しなければならない。

(廃止科目等の取扱い)

第18条の2 第3条関係別表第1、別表第2及び別表第3に定める授業科目のほか、学生が既に履修した授業科目の科目名及び修得した単位数については、なおその効力を有する。

(外国人留学生の卒業の要件)

第18条の3 外国人留学生については、第18条の要件に加え、次の各号の要件を満たさなければならない。

- (1) 第3条の2に定める日本語科目 第18条関係別表第5の語学科目に代えて 10単位
- (2) 第3条の2に定める日本事情に関する科目 4単位

2 前項第1号に定める科目は語学科目とみなす。

3 第1項第1号については、そのうち2単位は、学部の指定する授業科目を修得することにより代えることができる。

4 文学部英語英米文学科の外国人留学生については、第1項第1号に加え英語科目12単位又は20単位を必修とする。

(教育職員免許状)

第19条 教育職員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める単位を修得しなければならない。

2 本学において取得できる免許状の種類は、次のとおりとする。

免許状の種類	免許教科	学部・学科
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英 語	文学部 英語英米文学科
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	国 語	文学部 日本語日本文学科
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	音 楽	音楽学部 音楽芸術学科 演奏学科
中学校教諭一種免許状	社 会	国際交流学部 国際交流学科
高等学校教諭一種免許状	地理歴史	国際交流学部 国際交流学科
高等学校教諭一種免許状	公 民	国際交流学部 国際交流学科

(日本語教員養成講座)

第19条の2 本学に日本語教員養成講座を置く。

2 前項の講座に関し必要な事項は、別に定める。

第5章 卒業及び学位の授与

(卒業及び学位授与)

第20条 第18条の規定により教授会の議を経て、卒業資格の認定を受けた者には、学長が卒業を決定し、学士の学位を授与する。

2 学位の授与に関する規則は、別に定める。

第21条 削除

第6章 学年、学期及び休業日

(学年及び学期)

第22条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 学年を分けて、次の2学期とする。

前期 4月1日から 9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

(授業期間)

第22条の2 授業を行う期間は、前期と後期を合わせて年間35週とする。

(休業日)

第23条 休業日は、次の各号に掲げるところによる。ただし、学長は、授業の都合等により、これを変更することができる。

(1) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(2) 日曜日、土曜日

(3) 開学記念日 6月1日

(4) 夏季休業日 8月1日から 9月20日まで

(5) 冬季休業日 12月22日から 1月10日まで

(6) 春季休業日 3月16日から 3月31日まで

(7) 臨時休業日については、学長がその都度定める。

第7章 入学、留学、休学、退学等

(入学時期)

第24条 学生の入学時期は、学年の始めとする。ただし、教授会が十分な理由があると認めるときには、教育上支障がない限り、学期の始めとすることができる。

(入学資格)

第25条 本学に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する女子とする。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者

(3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
（2年次編入学）

第25条の2 本学の2年次に編入学（転入学を含む）することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者
 - (2) 短期大学を卒業した者
 - (3) 大学又は短期大学に1年以上在学し、30単位以上を修得した者
 - (4) 高等専門学校を卒業した者
 - (5) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（前条に規定する者に限る。）
 - (6) 外国において、学校教育における14年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者
- 2 第2条の3に規定するもののほか、本学への2年次編入学を願い出た者については、欠員のある場合に限り、選考の上、学長がこれを許可する。
- 3 前2項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

（3年次編入学）

第25条の3 本学の3年次に編入学（転入学を含む）することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者
 - (2) 短期大学を卒業した者又は大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者
 - (3) 高等専門学校を卒業した者
 - (4) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（第25条に規定する者に限る。）
 - (5) 外国において、学校教育における14年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者
- 2 本学への3年次編入学を願い出た者については、欠員のある場合に限り、選考の上、学長がこれを許可する。
- 3 前2項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

(編入学資格における外国の学校教育制度に基づく教育施設の取扱い)

第25条の4 第25条の2第1項第1号及び前条第1項第1号に規定する大学を卒業した者には、我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者を含むものとする。

2 第25条の2第1項第3号及び前条第1項第2号に規定する大学には、我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を含むものとする。

3 第25条の2第1項第3号に規定する短期大学には、我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を含むものとする。

4 第25条の2第1項第2号及び前条第1項第2号に規定する短期大学を卒業した者には、外国の短期大学を卒業した者及び我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（第25条に規定する者に限る。）を含むものとする。

(入学の出願)

第26条 本学への入学を志願する者は、本学所定の入学願書その他書類に入学検定料を添えて、指定の期日までに願出しなければならない。

(入学の選考)

第26条の2 入学志願者に対しては、学力検査等選考を行い、教授会及び大学評議会の議を経て、学長が合格者を決定する。

2 選考の方法、時期については、教授会が定める。

(入学手続)

第26条の3 本学への入学の許可を受けた者で本学に入学する者は、本学が定める期間内に、所定の学納金を納入しなければならない。

(宣誓)

第26条の4 本学への入学の許可を受けた者で本学に入学する者は、所定の宣誓をしなければならない。

2 本学への入学の許可を受けた者で本学に入学する者は、次に掲げる書類を、指定の期日までに提出しなければならない。

- (1) 保証人連署の誓約書
- (2) 住民票記載事項証明願（本学所定）
- (3) 出身高等学校等の卒業（修了）証明書
- (4) その他必要な書類

(入学の決定)

第26条の5 学長は、前2条の手続を行った者について、入学を決定するものとする。

2 学長は、前2条の手続を行わない者の入学を取り消すことができる。

(保証人)

第27条 保証人は、父母又は独立の生計を営む者で、確実に保証人としての責任を果たし得る者でなければならない。

2 保証人は、保証する学生の在学中、その一身上に関する事項について一切の責務を負うものとする。

3 保証人が何らかの事由によって責務を果たし得ない場合又は保証人を変更しようとする場合には、新たに保証人を選定して届け出なければならない。

4 本学が保証人として不適当と認めたときは、その変更を命ずることができる。

(転居、改姓の届出)

第28条 学生又は保証人が転居、改姓したときは、その旨を速やかに届け出なければならない。

(留学)

第28条の2 外国の大学に留学を志願する者は、所定の手続により、許可を得て留学することができる。

2 留学の期間は、1年を限度として第9条の2に定める在学期間として扱う。

3 留学に関し必要な事項は、別に定める。

(休学)

第29条 病気その他やむを得ない理由により修学することができない者は、保証人連署の上、所定の期日までに願い出て、1学期又は1年を区分として休学することができる。

2 校医の診断に基づき病気のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は、休学を命ずることができる。

(休学期間)

第29条の2 休学できる期間は、1年を超えることができない。ただし、特別の事情がある者は、学長の許可を得て、なお1年以内の休学をすることができる。

2 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

3 休学期間は、第9条の2の在学期間に算入しない。

(出席停止)

第30条 学長は、感染症にかかった学生又はそのおそれのある学生に対して、出席停止を命ずることができる。

(出席停止期間)

第30条の2 出席停止期間は、学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号）第19条の規定に準じて、学長が決定する。

(転学部及び転学科)

第31条 所属する学部、学科から他の学部、学科に転学部、転学科を願い出た者については、選考の上、これを許可することがある。

2 転学部、転学科に関し必要な事項は、別に定める。

第32条 削除

(退学)

第33条 退学しようとする者は、保証人連署の上、願い出なければならない。ただし、退学する日を含む学期の授業料等学納金を納入していなければならない。

(除籍)

第34条 次の各号のいずれかに該当する者は、除籍する。

- (1) 在学期間が8年を超えて卒業資格を得られない者
- (2) 学生納付金の納入を怠り、督促してもなお納入しない者
- (3) 第29条の2第2項に定める休学期間を超えてなお復学できない者
- (4) 死亡した者
- (5) 長期間にわたり行方不明の者

(再入学)

第34条の2 本学を退学した者又は本学から除籍を受けた者が再入学を願い出たときは、選考の上、これを許可することがある。ただし、前条第1号により除籍を受けた者は、再入学を願い出ることにはできない。

2 再入学に関し必要な事項は、別に定める。

(学籍の異動に係る決定)

第34条の3 留学、休学、復学、転学、除籍及び再入学については、教授会の意見を参酌した上で、学長が決定する。

第8章 学生納付金

(入学検定料)

第35条 入学検定料は、別表第6に定めるところによる。

2 入学検定料を減免することがある。減免に関し必要な事項は、別に定める。

(入学手続金)

第36条 入学の許可を受けた者で本学に入学する者は、本学が定める期間内に、入学金及び入学年度前期分の授業料等学納金（以下「学納金」という。）を納入しなければならない。

2 前項の規定に従って入学金及び学納金を納入した者が、入学以前の本学が定める期日までに入学辞退を申し出た場合は、既に納めた学納金を返還するものとする。ただし、入学金は返還しない。

(学納金)

第36条の2 学生は、学期ごとに当該学期分の学納金を、前期分については4月、後期分については10月に納入しなければならない。

2 学生は、学納金のうち施設設備費については、入学した年度から4年間（2年次編入学生にあつては3年間、3年次編入学生にあつては2年間）納入するものとする。

(留学者及び休学者の扱い)

第36条の3 第28条の2第1項の規定により本学から外国の大学に留学する者（以下「留学者」という。）は、本学が定める期間内に、所定の在籍料及び施設設備費を納入しなければならない。

2 第29条の規定により休学する者（以下「休学者」という。）は、本学が定める期間内に、所定

の在籍料及び施設設備費を納入しなければならない。

(納付額)

第36条の4 前3条の額は、別表第7に定めるところによる。

(編入学者の学生納付金)

第36条の5 編入学者の入学金及び学納金は、編入学する年次の額を適用する。

(再入学者の学生納付金)

第36条の6 第34条の2第1項の規定による再入学を願い出る者の入学検定料は、再入学を希望する年度の入学検定料の2分の1の額とする。

2 再入学の許可を受けた者の入学金は、再入学する年度の入学金の2分の1の額とし、学納金は、再入学する年度の1年次生に適用する額とする。

3 退学又は除籍以前の在籍期間が第9条に規定する修業年限を超えている者については、学納金のうち施設設備費は、納入を必要としない。

(納入方法等)

第37条 第35条から前条までに定めるもののほか、学生納付金の額、納入方法等は、別に定める。

2 いったん納めた学生納付金は、別に定める場合を除き、返還しない。

第9章 教職員組織

(教職員組織)

第38条 本学に学長、副学長を置く。

2 本学に次の教職員を置く。

教授

准教授

助教

講師

助手

副手

事務職員

医療職員

技能職員

3 学長、副学長及び教職員の職務は、学校教育法その他法令の定めるもののほか、別に定めるところによる。

第10章 教授会及び大学評議会

(教授会)

第39条 本学の各学部に教授会を置き、各学部に所属する専任教員をもって構成する。

2 教授会に関し必要な事項は、別に定める。

(大学評議会)

第39条の2 本学に大学評議会を置く。

2 大学評議会に関し必要な事項は、別に定める。

第11章 削除

第40条 削除

第12章 図書館、研究施設及びセンター

(附属図書館)

第41条 本学に附属図書館を置く。

2 附属図書館に関し必要な事項は、別に定める。

(教育研究施設)

第42条 本学に教育研究施設を置くことができる。

2 教育研究施設に関し必要な事項は、別に定める。

(センター)

第42条の2 本学に教育・研究の特定分野を所管する附属のセンターを置くことができる。

2 センターに関し必要な事項は、別に定める。

第13章 科目等履修生、交流学生、外国人留学生及び交換留学生

(科目等履修生)

第43条 学長は、本学学生でない者で本学所定の授業科目の履修を希望する者については、選考の上、科目等履修生として履修を許可することができる。

2 前項の許可を受けようとする者は、所定の手続により、選考料を添えて学長に願い出なければならない。

3 科目等履修生として履修を許可された者は、所定の期日までに登録料・施設設備利用料及び受講料を納入しなければならない。ただし、履修する科目について単位の認定を希望する者は、単位認定料を併せて納入しなければならない。

4 前2項の額は、別表第8に定めるとおりとする。

5 既に納めた選考料、登録料・施設設備利用料、受講料及び単位認定料は、いかなる理由にかかわらず返還しない。

6 前各項に定めるもののほか、科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

(交流学生)

第43条の2 学長は、本学と協定のある日本国内の他の大学に在籍する学生で本学所定の授業科目の履修を希望する者については、選考の上、交流学生として履修を許可することができる。

2 前項の許可を受けようとする者は、所定の手続により、学長に願い出なければならない。

3 前2項に定めるもののほか、交流学生に関し必要な事項は、別に定める。

(外国人留学生)

第44条 学長は、外国人で大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者については、選考の上、外国人留学生として入学を許可することができる。

2 外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

(交換留学生)

第44条の2 学長は、本学と協定のある外国の大学の学生については、交換留学生として入学を許可することができる。

2 交換留学生に関し必要な事項は、別に定める。

第14章 公開講座

(公開講座)

第45条 本学に、公開講座を開設することができる。

2 公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

第15章 削除

第46条 削除

第16章 学内諸施設

(厚生施設)

第47条 本学に保健室等必要な厚生施設を置く。

(寄宿舍)

第48条 本学に寄宿舍を置くことができる。

2 寄宿舍に関し必要な事項は、別に定める。

(体育館)

第48条の2 本学に体育館を置く。

2 体育館に関し必要な事項は、別に定める。

(その他の厚生施設)

第49条 前3条に定めるもののほか、大学に必要な厚生施設を置くことができる。

第17章 奨学金

(奨学金)

第49条の2 本学に奨学金制度を設け、学業成績、人物ともに優秀な者又は経済的理由により修学困難な者に対しては、選考の上、学長が奨学金の授与を決定する。

2 奨学金に関し必要な事項は、別に定める。

第18章 賞罰

(表彰)

第50条 学生としての本分を全うし、特に他の模範となると認められる者があるときは、これを表彰する。

2 表彰に関し必要な事項は、別に定める。

(懲戒)

第51条 本学の学則及び訓育の趣旨に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、これを懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者について行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学業劣等で成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当な理由がなくて出席常でない者

(4) 学内の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

4 学生の処分に関し必要な事項は、別に定める。

(賞罰の決定)

第51条の2 前2条に規定する賞罰は、教授会の意見を参酌した上で、学長が決定する。

第19章 雑則

(その他の事項)

第52条 この学則に定めるもののほか、本学の教育研究に関し必要な事項は、学長が決定する。

2 前項により決定した教育研究に関わる事項は、学長発信をもって大学教職員に周知するものとする。

(学則の改正)

第53条 この学則の改正は、教授会及び大学評議会の議を経て、理事会の承認を得て行うものとする。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和40年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和42年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和48年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和49年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和50年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和51年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和52年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和53年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和54年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和55年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和56年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和57年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和59年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和60年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和61年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、昭和62年4月1日から施行する。ただし、第40条の規定にかかわらず昭和62年度から平成7年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
文学部	名
英文学科	140
国文学科	140
計	280

附 則

本学則は、昭和63年4月1日から施行する。ただし、第40条の規定にかかわらず昭和63年度から平成2年度までの間の国際文化学科の総定員は、次のとおりとする。

年度 学科	昭和63年度	平成元年度	平成2年度
	名	名	名
国際文化学科	80	160	240

附 則

- 1 本学則は、1989年4月1日から施行する。ただし、第14条の2については、1988年4月1日から適用する。
- 2 第40条の規定にかかわらず平成元年度から平成3年度までの間の音楽学部の総定員は、次のとおりとする。

年度 学部 学科	平成元年度	平成2年度	平成3年度
	名	名	名
音楽学部			
声楽学科	20	40	60
器楽学科	20	40	60
楽理学科	10	20	30
計	50	100	150

附 則

本学則は、1990年4月1日から施行する。ただし、改正後の学則第8条、第18条並びに第19条にかかわらず、1989年度以前入学生は、なお従前のおりとする。

附 則

本学則は、1991年4月1日から施行する。ただし、第40条の規定にかかわらず、1991年度から1999年度までの間の音楽学部声楽学科及び器楽学科の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
音楽学部	名
声楽学科	30
器楽学科	40

附 則〔1991年5月23日理事会決定〕

本学則は、1992年4月1日から施行する。

附 則〔1991年9月6日理事会決定〕

本学則は、1991年9月6日から施行する。ただし、第7条別表2のC、第18条、第37条別表4及び第43条については1992年4月1日から適用する。

附 則〔1992年2月27日理事会決定〕

本学則は、1992年4月1日から施行する。ただし、第40条及び附則（昭和62年4月1日施行）の規定にかかわらず、1992年度から1999年度までの間の文学部の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員	
	1992年度～1995年度	1996年度～1999年度
文学部	名	名
英文学科	155	135
国文学科	155	135
国際文化学科	95	95

附 則〔1992年3月24日理事会決定〕

本学則は、1992年4月1日から施行する。

附 則〔1992年7月13日理事会決定〕

- 1 本学則は、1993年4月1日から施行する。
- 2 第18条において、1992年度以前の入学生に適用する表の区分は、第3条の規定に基づき、「一般教育科目」を「共通科目」の「基礎教養科目」及び「総合課題科目」に、「保健体育科目」を「共通科目」の「基礎教養科目」に、「外国語科目」を「共通科目」の「語学科目」にそれぞれ読み替えるものとし、音楽学部の「基礎教育科目」を、「音楽学部専門科目」の該当する授業科目にそれぞれ読み替えるものとする。

附 則〔1992年7月13日理事会決定〕

- 1 本学則は、1993年3月11日から施行する。ただし、文学部国文学科の名称に関する改正規定は、1993年4月1日から施行する。
- 2 文学部国文学科は、改正後の学則の規定にかかわらず、1993年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則〔1992年7月13日理事会決定〕

本学則は、1993年3月16日から施行する。ただし、音楽学部の教育職員免許状に関する改正規定は、1993年4月1日から施行する。

附 則〔1992年9月21日理事会決定〕

本学則は、1993年4月1日から施行する。

附 則〔1993年3月22日理事会決定〕

- 1 本学則は、1993年4月1日から施行する。
- 2 第15条の規定にかかわらず、1992年度以前入学生については、授業科目の試験の成績は、A、B、C、Fの4種類の評語をもって表わし、A、B、Cを合格とする。

附 則〔1993年12月20日理事会決定〕

この学則は、1994年4月1日から施行する。ただし、第3条の別表1のC及び別表2のA、B、C、第3条の2の別表4及び第18条第1項の文学部1993年度以降入学生に適用する表は、1993年4月1日から適用する。

附 則〔1994年5月23日理事会決定〕

この学則は、1994年5月23日から施行する。ただし、第18条第1項の文学部1991年度以前入学生及び1992年度入学生並びに音楽学部1991年度以前入学生及び1992年度入学生に適用する表中、専門教育科目の帰国子女に係る必修科目の廃止については、1994年4月1日から適用する。

附 則〔1994年10月24日理事会決定〕

この学則は、1995年4月1日から施行する。

附 則〔1995年2月28日理事会決定〕

この学則は、1995年4月1日から施行する。

附 則〔1995年3月27日理事会決定〕

この学則は、1995年4月1日から施行する。

附 則〔1995年5月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、1996年4月1日から施行する。ただし、改正後の第37条関係別表5-1に規定する入学検定料の額は、1996年度入学試験から適用する。
- 2 改正後の第2条の2及び附則（1992年4月1日施行）の規定にかかわらず、1996年度から1999年度までの間の文学部英文学科及び日本文学科の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
文学部	名
英文学科	155
日本文学科	155

- 3 1992年度以前入学者の卒業に必要な単位数は、改正後の第18条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔1995年5月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、1997年4月1日から施行する。
- 2 文学部国際文化学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、1997年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 改正後の第2条の2の規定にかかわらず、1997年度から1999年度までの間の文学部英文学科及び日本文学科並びに国際交流学部国際交流学科の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
文学部	名
英文学科	135
日本文学科	145
国際交流学部	
国際交流学科	155

- 4 1993年度以前入学者及び文学部国際文化学科在学者の卒業に必要な単位数は、改正後の第18条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔1997年2月27日理事会決定〕

- 1 この学則は、1997年4月1日から施行する。
- 2 音楽学部1993年度から1996年度入学者に適用する各学科専門科目は、改正後の第3条関係別表2にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔1997年9月8日理事会決定〕

この学則は、1998年4月1日から施行する。

附 則〔1997年12月11日理事会決定〕

この学則は、1998年4月1日から施行する。

附 則〔1998年2月26日理事会決定〕

この学則は、1998年4月1日から施行する。

附 則〔1999年2月22日理事会決定〕

この学則は、1999年4月1日から施行する。ただし、改正後の第37条関係別表5-1に規定する入学検定料の額は、1999年度入学試験から適用する。

附 則〔1999年5月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、2000年4月1日から施行する。
- 2 2000年度から2003年度までの間の文学部英文学科及び日本文学科、音楽学部声楽学科及び器楽学科、国際交流学部国際交流学科の入学定員は、改正後の第2条の2の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員			
	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
文学部	名	名	名	名
英文学科	125	121	118	115
日本文学科	125	122	118	114
音楽学部				
声楽学科	29	28	27	26
器楽学科	53	51	49	47
国際交流学部				
国際交流学科	161	159	158	156

附 則〔1999年10月29日理事会決定〕

- 1 この学則は、2000年4月1日から施行する。
- 2 音楽学部1996年度以前入学者に適用する音楽学部共通専門科目は、改正後の第3条関係別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 文学部1995年度以前入学者及び音楽学部1996年度以前入学者の卒業に必要な単位は、改正後の第18条関係別表第5の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2000年2月4日理事会決定〕

この学則は、2000年4月1日から施行する。

附 則〔2001年2月19日理事会決定〕

- 1 この学則は、2001年4月1日から施行する。ただし、改正後の第35条関係別表第6に規定する

入学検定料の額は、2001年度入学試験から適用する。

- 2 文学部1996年度及び1997年度入学者の卒業に必要な単位は、改正後の第18条関係別表第5の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2002年3月25日理事会決定〕

この学則は、2002年4月1日から施行する。

附 則〔2002年12月16日理事会決定〕

- 1 この学則は、2004年4月1日から施行する。
- 2 音楽学部楽理学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2004年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則〔2003年2月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、2003年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第35条第4項に規定する入学検定料の減免については、2003年度入学試験から適用する。
- 3 音楽学部器楽学科2000・2001・2002年度入学者の卒業に必要な単位の改正は、2003年2月25日から施行し、2000年4月1日から適用する。

附 則〔2003年5月29日理事会決定〕

この学則は、2004年4月1日から施行する。

附 則〔2003年11月27日理事会決定〕

この学則は、2003年11月27日から施行する。

附 則〔2004年2月26日理事会決定〕

- 1 この学則は、2004年4月1日から施行する。
- 2 2003年度以前入学者の外国人留学生の卒業に必要な単位は、改正後の第18条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2004年3月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、2005年4月1日から施行する。ただし、改正後の第35条関係別表第6に規定する入学検定料の額は、2005年度入学試験から適用する。
- 2 音楽学部声楽学科及び器楽学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2005年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 音楽学部声楽学科及び器楽学科在学者の取得できる教育職員免許状の種類は、改正後の第19条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 1996年度以前入学者の授業料等学納金については、改正後の第36条及び第36条の2関係別表第7の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 2005年度及び2006年度音楽学部3年次編入学試験に係る入学検定料の額は、改正後の第35条関係別表第6の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 2005年度及び2006年度音楽学部3年次編入学者に係る入学金及び授業料等学納金の額は、改正後の第36条及び第36条の2関係別表第7の規定にかかわらず、2004年度以前入学者に準じて納入しなければならない。

附 則〔2005年2月24日理事会決定〕

- 1 この学則は、2005年4月1日から施行する。
- 2 2003年度以前入学者及び2004年度入学者の外国人留学生の卒業に必要な単位は、それぞれ改正後の第18条の2の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2005年3月24日理事会決定〕

この学則は、2005年4月1日から施行する。

附 則〔2005年3月24日理事会決定〕

この学則は、2006年4月1日から施行し、2006年度入学試験から適用する。

附 則〔2005年9月5日理事会決定〕

この学則は、2006年4月1日から施行する。

附 則〔2006年2月23日理事会決定〕

この学則は、2006年4月1日から施行する。

附 則〔2006年3月23日理事会決定〕

この学則は、2007年4月1日から施行し、2007年度入学試験から適用する。

附 則〔2006年10月26日理事会決定〕

この学則は、2007年4月1日から施行する。

附 則〔2007年2月22日理事会決定〕

- 1 この学則は、2007年4月1日から施行する。ただし、改正後の第36条及び第36条の2に規定する納入方法は、2007年度入学試験より適用する。
- 2 2006年度以前入学者の授業料等学納金については、改正後の第36条及び第36条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 2007年度及び2008年度3年次編入学者の施設設備費の納入については、改正後の第36条及び第36条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 2007年度2年次編入学者の施設設備費納入については、改正後の第36条及び第36条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2007年3月22日理事会決定〕

この学則は、2007年4月1日から施行する。

附 則〔2007年3月22日理事会決定〕

この学則は、2008年4月1日から施行し、2008年度入学試験から適用する。

附 則〔2008年2月28日理事会決定〕

この学則は、2008年4月1日から施行する。

附 則〔2008年3月27日理事会決定〕

この学則は、2008年4月1日から施行し、2008年度入学者から適用する。

附 則〔2009年2月26日理事会決定〕

この学則は、2009年4月1日から施行する。

附 則〔2009年5月28日理事会決定〕

この学則は、2010年4月1日から施行する。

附 則〔2010年2月25日理事会決定〕

この学則は、2010年4月1日から施行する。

附 則〔2010年3月25日理事会決定〕

この学則は、2011年4月1日から施行し、2011年度入学試験から適用する。

附 則〔2010年10月28日理事会決定〕

この学則は、2011年4月1日から施行する。

附 則〔2011年2月24日理事会決定〕

この学則は、2011年4月1日から施行する。

附 則〔2012年2月23日理事会決定〕

この学則は、2012年4月1日から施行する。

附 則〔2012年3月22日理事会決定〕

この学則は、2012年4月1日から施行する。

附 則〔2012年10月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、2014年4月1日から施行する。
- 2 文学部英文学科及び日本文学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2014年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 文学部英文学科及び日本文学科在学者の卒業に必要な単位は、改正後の第18条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 文学部英文学科在学者の外国人留学生の卒業に必要な単位は、改正後の第18条の2第4項の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 文学部英文学科及び日本文学科在学者の取得できる教育職員免許状の種類は、改正後の第19条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2013年2月28日理事会決定〕

- 1 この学則は、2013年2月28日から施行し、2011年4月1日から適用する。
- 2 前項の規定にかかわらず、改正後の第3条関係別表第1-Cに規定する「フランス語Ⅱs(L L)」「ドイツ語Ⅱs(L L)」「スペイン語Ⅱs(L L)」「中国語Ⅱs(L L)」「朝鮮語Ⅱs(L L)」については、2003年4月1日から適用する。

附 則〔2013年2月28日理事会決定〕

この学則は、2013年4月1日から施行する。

附 則〔2013年2月28日理事会決定〕

この学則は、2014年4月1日から施行し、2014年度入学試験から適用する。

附 則〔2014年3月27日理事会決定〕

この学則は、2014年4月1日から施行する。

附 則〔2014年10月23日理事会決定〕

この学則は、2016年4月1日から施行し、2016年度入学試験から適用する。

附 則〔2015年2月26日理事会決定〕

この学則は、2015年4月1日から施行する。

附 則〔2015年3月26日理事会決定〕

この学則は、2015年4月1日から施行する。

附 則〔2016年3月24日理事会決定〕

- 1 この学則は、2016年4月1日から施行する。
- 2 2017年度編入学者及び2018年度3年次編入学者の入学金及び学納金については、改正後の第36条の5の規定により、改正後の第36条の4関係別表第7-1を適用する。

附 則〔2016年5月26日理事会決定〕

この学則は、2017年4月1日から施行する。

附 則〔2017年2月23日理事会決定〕

- 1 この学則は、2017年4月1日から施行する。
- 2 2016年度以前に入学した者の第3条第2項の適用については、なお従前の例による。

附 則〔2018年2月22日理事会決定〕

- 1 この学則は、2018年4月1日から施行する。ただし、改正後の第18条の3に規定する外国人留学生の卒業に必要な単位及び改正後の第18条関係別表第5に規定する卒業に必要な単位は2017年4月1日から適用する。
- 2 2016年度以前入学の外国人留学生の卒業に必要な単位は、改正後の第18条の3の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2018年3月22日理事会決定〕

この学則は、2018年3月22日から施行し、2017年7月1日から適用する。

別表第1 (第3条関係)

共通科目

()内は単位数

A 基礎教養科目

2016年度以前入学者

キリスト教Ⅰ	(2)	ミクロ経済学	(2)
哲学A	(2)	経営学入門A	(2)
哲学B	(2)	経営学入門B	(2)
心理学	(2)	ボランティア論	(2)
青年心理	(2)	ボランティア活動1	(1)
ジェンダーと教育の歴史	(2)	ボランティア活動2	(2)
子ども・教育・保育	(2)	ボランティア活動3	(6)
論理学	(2)	文学(日本文学)1	(2)
数的思考の初歩	(2)	文学(日本文学)2	(2)
読み書きのスキル(文学系)	(2)	文学(日本文学)3	(2)
読み書きのスキル(社会系)	(2)	文学(日本文学)4	(2)
今年の一冊	(2)	文学(外国文学)1	(2)
聞く話すのスキル	(2)	文学(外国文学)2	(2)
情報とメディアのリテラシー	(2)	文学(外国文学)3	(2)
読書とメディア	(2)	文学(外国文学)4	(2)
社会科学入門	(2)	音楽A	(2)
近現代史入門	(2)	音楽B	(2)
社会経済史	(2)	音楽実技(声楽アンサンブル入門)	(1)
社会学A	(2)	音楽実技(ピアノ)	(1)
マスコミュニケーション論A	(2)	音楽実技(弦楽器)	(1)
マスコミュニケーション論B	(2)	音楽実技(管楽器)	(1)
現代における法学入門	(2)	音楽実技(声楽)	(1)
民法(家族法A)	(2)	音楽実技(オルガン)	(1)
民法(家族法B)	(2)	美術芸術論	(2)
日本国憲法	(2)	舞台芸術入門	(2)
商法・会社法	(2)	科学技術入門	(2)
消費者関連法A	(2)	数学の基礎	(2)
消費者関連法B	(2)	統計の基礎	(2)
行政学A	(2)	環境学入門	(2)
行政学B	(2)	生き物との共生	(2)
経済学入門	(2)	情報科学	(2)
現代の経済問題	(2)	情報リテラシー	(2)
社会保障論	(2)	健康・スポーツ論	(2)
マクロ経済学	(2)	スポーツ実習	(1)

B 総合課題科目

2016年度以前入学者

キリスト教Ⅱ	(2)	弁論と説得	(2)
キリスト教Ⅲ	(2)	議論と意思決定	(2)
キリスト教Ⅳ	(2)	市民活動の役割と意義	(2)
フェリス女学院で学ぶということ	(2)	キャリア形成の理解	(2)
女性	(2)	キャリア系の知識を深める	(2)
他者との共生: For Others	(2)	社会人基礎力の修得と実践	(2)
分析的・批判的思考1	(2)	キャリア実習(短期インターンシップ)	(1)
分析的・批判的思考2	(2)	キャリア実習(長期インターンシップ)	(2)

転換の時代を生きる	(2)
環境と人間	(2)
世界とつながる音楽の力	(2)
女性のキャリア	(2)
地域と環境から見た未来	(2)
ボランティア活動が変える世界	(2)
21世紀のオリンピックとパラリンピック	(2)

グローバル時代の対話と協調	(2)
21世紀の戦争と平和	(2)
文化の創造と継承	(2)
私たちが学びたいこと	(2)
学びの世界を広げる	(2)
新たな学びの世界への招待	(2)

C CLAコア科目

2017年度以降入学者

キリスト教Ⅰ	(2)
キリスト教Ⅱ	(2)
キリスト教Ⅲ	(2)
キリスト教Ⅳ	(2)
哲学A	(2)
哲学B	(2)
心理学	(2)
青年心理	(2)
ジェンダーと教育の歴史	(2)
子ども・教育・保育	(2)
文学（日本文学）1	(2)
文学（日本文学）2	(2)
文学（日本文学）3	(2)
文学（日本文学）4	(2)
文学（外国文学）1	(2)
文学（外国文学）2	(2)
文学（外国文学）3	(2)
文学（外国文学）4	(2)
音楽1A	(2)
音楽2A	(2)
音楽1B	(2)
音楽2B	(2)
音楽実技（声楽アンサンブル入門）	(1)
音楽実技（ピアノ）	(1)
音楽実技（弦楽器）	(1)
音楽実技（管楽器）	(1)
音楽実技（声楽）	(1)
音楽実技（オルガン）	(1)
美術芸術論	(2)
舞台芸術入門	(2)
生命科学と倫理A	(2)
生命科学と倫理B	(2)
マスコミュニケーションと思想	(2)
社会科学入門	(2)
近現代史入門	(2)
社会経済史	(2)
社会学	(2)
マスコミュニケーション論	(2)
現代における法学入門	(2)
日本国憲法	(2)

家族と法A	(2)
家族と法B	(2)
消費者と法A	(2)
消費者と法B	(2)
商法・会社法	(2)
経済学入門	(2)
マクロ経済学	(2)
ミクロ経済学	(2)
現代の経済問題	(2)
社会保障論	(2)
行政学A	(2)
行政学B	(2)
経営学入門A	(2)
経営学入門B	(2)
企業と倫理	(2)
転換の時代を生きる1	(2)
転換の時代を生きる2	(2)
転換の時代を生きる3	(2)
転換の時代を生きる4	(2)
数学の基礎	(2)
統計の基礎	(2)
数的思考の初歩	(2)
科学技術入門	(2)
環境学入門1	(2)
環境学入門2	(2)
情報科学1	(2)
情報科学2	(2)
情報科学3	(2)
情報科学4	(2)
健康・スポーツ論	(2)
スポーツ実習	(1)
読み書きのスキル（文学系）	(2)
読み書きのスキル（社会系）	(2)
聞く話すのスキル	(2)
分析的・批判的思考1	(2)
分析的・批判的思考2	(2)
弁論と説得	(2)
議論と意思決定	(2)
情報とメディアのリテラシー1	(2)
情報とメディアのリテラシー2	(2)

読書とメディア	(2)
今年の一冊	(2)
ボランティア論	(2)
ボランティア活動1	(1)
ボランティア活動2	(2)
ボランティア活動3	(6)
市民活動の役割と意義	(2)
情報リテラシー	(2)
女性1	(2)
女性2	(2)
女性3	(2)
女性4	(2)
女性5	(2)
キャリア形成の理解1	(2)
キャリア形成の理解2	(2)
キャリア系の知識を深める1	(2)
キャリア系の知識を深める2	(2)
キャリア系の知識を深める3	(2)
社会人基礎力の修得と実践1	(2)
社会人基礎力の修得と実践2	(2)

キャリア実習（短期インターンシップ）	(1)
キャリア実習（長期インターンシップ）	(2)
未来の環境を展望する1	(2)
未来の環境を展望する2	(2)
未来の環境を展望する3	(2)
未来の環境を展望する4	(2)
未来の環境を展望する5	(2)
未来の環境を展望する6	(2)
世界とつながる音楽の力	(2)
フェリス女学院で学ぶということ	(2)
女性のキャリア	(2)
地域と環境から見た未来	(2)
ボランティア活動が変える世界	(2)
21世紀のオリンピックとパラリンピック	(2)
グローバル時代の対話と協調	(2)
21世紀の戦争と平和	(2)
私たちが学びたいこと	(2)
学びの世界を広げる	(2)
文化の創造と継承	(2)
プロジェクト演習	(1)

D 語学科目

英語 I s (読む・書く)	(1)
英語 I s (聞く・話す)	(1)
英語 II i (Reading)	(1)
英語 II i (Writing)	(1)
英語 II i (Listening)	(1)
英語 II i (Speaking)	(1)
英語 II i (Presentation)	(1)
英語 II i (Language Development)	(1)
英語 II i (講読)	(1)
英語 II s (読む・書く)	(1)
英語 II s (聞く・話す)	(1)
英語 III i (Reading)	(1)
英語 III i (Writing)	(1)
英語 III i (Listening)	(1)
英語 III i (Speaking)	(1)
英語 III i (Language Development)	(1)
英語 III s (読む・書く)	(1)
英語 III s (聞く・話す)	(1)
英語 IV i (Reading)	(1)
英語 IV i (Writing)	(1)
英語 IV i (Listening)	(1)
英語 IV i (Speaking)	(1)
英語 IV i (Language Development)	(1)
英語 IV i (講読)	(1)
英語 IV s (読む・書く)	(1)
英語 IV s (聞く・話す)	(1)
英語 V i (Reading)	(1)

英語 V i (Speaking)	(1)
英語 e (Academic Listening)	(1)
英語 e (Academic Reading)	(1)
英語 e (Academic Reading:Advanced)	(1)
英語 e (Business Communication)	(1)
英語 e (Conversation Skills:Basic)	(1)
英語 e (Conversation Skills)	(1)
英語 e (Conversation Skills:Advanced)	(1)
英語 e (Creative Writing)	(1)
英語 e (Discussion and Debate)	(1)
英語 e (English through Movies)	(1)
英語 e (English through Music:Basic)	(1)
英語 e (Grammar:Basic)	(1)
英語 e (News and Views)	(1)
英語 e (News and Views:Advanced)	(1)
英語 e (Pronunciation:Basic)	(1)
英語 e (Pronunciation)	(1)
英語 e (Speech and Debate)	(1)
英語 e (TOEFL-iBT Preparation I)	(1)
英語 e (TOEFL-iBT Preparation II: Listening/Speaking)	(1)
英語 e (TOEFL-iBT Preparation II: Reading/Writing)	(1)
英語 e (TOEFL-iBT Preparation III)	(1)
英語 e (TOEIC Preparation I)	(1)
英語 e (TOEIC Preparation II:Listening)	(1)
英語 e (TOEIC Preparation II:Reading)	(1)

英語e (TOEIC Preparation Ⅲ)	(1)	ドイツ語Ⅲi (書く)	(1)
英語e (Vocabulary:Basic)	(1)	ドイツ語Ⅲi (L L)	(1)
英語e (Vocabulary)	(1)	ドイツ語Ⅲs (文法)	(1)
英語e (Writing Skills)	(1)	ドイツ語Ⅲs (読む)	(1)
フランス語Ⅰ (入門)	(1)	ドイツ語Ⅲs (話す)	(1)
フランス語Ⅱi (文法)	(3)	ドイツ語Ⅲs (L L)	(1)
フランス語Ⅱi (読む1)	(1)	ドイツ語Ⅳi (読む1)	(1)
フランス語Ⅱi (読む2)	(1)	ドイツ語Ⅳi (読む2)	(1)
フランス語Ⅱi (L L)	(1)	ドイツ語Ⅳi (話す)	(1)
フランス語Ⅱs (文法)	(1)	ドイツ語Ⅳi (書く)	(1)
フランス語Ⅱs (読む)	(1)	ドイツ語Ⅳi (L L)	(1)
フランス語Ⅱs (L L)	(1)	ドイツ語Ⅳs (読む)	(1)
フランス語Ⅲi (文法)	(2)	ドイツ語Ⅳs (話す)	(1)
フランス語Ⅲi (読む)	(1)	ドイツ語Ⅳs (L L)	(1)
フランス語Ⅲi (話す)	(1)	ドイツ語Ⅴi (読む)	(1)
フランス語Ⅲi (書く)	(1)	ドイツ語Ⅴi (話す)	(1)
フランス語Ⅲi (L L)	(1)	ドイツ語Ⅴi (書く)	(1)
フランス語Ⅲs (文法)	(1)	ドイツ語Ⅴi (L L)	(1)
フランス語Ⅲs (読む)	(1)	ドイツ語Ⅵi (読む)	(1)
フランス語Ⅲs (話す)	(1)	ドイツ語Ⅵi (話す)	(1)
フランス語Ⅲs (L L)	(1)	ドイツ語Ⅵi (書く)	(1)
フランス語Ⅳi (読む1)	(1)	ドイツ語Ⅵi (L L)	(1)
フランス語Ⅳi (読む2)	(1)	海外語学実習 (ドイツ語)	(2)
フランス語Ⅳi (話す)	(1)	スペイン語Ⅰ (入門)	(1)
フランス語Ⅳi (書く)	(1)	スペイン語Ⅱi (文法)	(3)
フランス語Ⅳi (L L)	(1)	スペイン語Ⅱi (読む1)	(1)
フランス語Ⅳs (読む)	(1)	スペイン語Ⅱi (読む2)	(1)
フランス語Ⅳs (話す)	(1)	スペイン語Ⅱi (L L)	(1)
フランス語Ⅳs (L L)	(1)	スペイン語Ⅱs (文法)	(1)
フランス語Ⅴi (読む)	(1)	スペイン語Ⅱs (読む)	(1)
フランス語Ⅴi (話す)	(1)	スペイン語Ⅱs (L L)	(1)
フランス語Ⅴi (書く)	(1)	スペイン語Ⅲi (文法)	(2)
フランス語Ⅴi (L L)	(1)	スペイン語Ⅲi (読む)	(1)
フランス語Ⅵi (読む)	(1)	スペイン語Ⅲi (話す)	(1)
フランス語Ⅵi (話す)	(1)	スペイン語Ⅲi (書く)	(1)
フランス語Ⅵi (書く)	(1)	スペイン語Ⅲi (L L)	(1)
フランス語Ⅵi (L L)	(1)	スペイン語Ⅲs (文法)	(1)
海外語学実習 (フランス語)	(2)	スペイン語Ⅲs (読む)	(1)
ドイツ語Ⅰ (入門)	(1)	スペイン語Ⅲs (話す)	(1)
ドイツ語Ⅰ (文法)	(1)	スペイン語Ⅲs (L L)	(1)
ドイツ語Ⅰ (読む)	(1)	スペイン語Ⅳi (読む1)	(1)
ドイツ語Ⅱi (文法)	(3)	スペイン語Ⅳi (読む2)	(1)
ドイツ語Ⅱi (読む1)	(1)	スペイン語Ⅳi (話す)	(1)
ドイツ語Ⅱi (読む2)	(1)	スペイン語Ⅳi (書く)	(1)
ドイツ語Ⅱi (L L)	(1)	スペイン語Ⅳi (L L)	(1)
ドイツ語Ⅱs (文法)	(1)	スペイン語Ⅳs (読む)	(1)
ドイツ語Ⅱs (読む)	(1)	スペイン語Ⅳs (話す)	(1)
ドイツ語Ⅱs (L L)	(1)	スペイン語Ⅳs (L L)	(1)
ドイツ語Ⅲi (文法)	(2)	スペイン語Ⅴi (読む)	(1)
ドイツ語Ⅲi (読む)	(1)	スペイン語Ⅴi (話す)	(1)
ドイツ語Ⅲi (話す)	(1)	スペイン語Ⅴi (書く)	(1)

スペイン語Vi (LL)	(1)	朝鮮語Ii (LL)	(1)
スペイン語VIi (読む)	(1)	朝鮮語Is (文法)	(1)
スペイン語VIi (話す)	(1)	朝鮮語Is (読む)	(1)
スペイン語VIi (書く)	(1)	朝鮮語Is (LL)	(1)
スペイン語VIi (LL)	(1)	朝鮮語IIIi (文法)	(2)
海外語学実習 (スペイン語)	(2)	朝鮮語IIIi (読む)	(1)
中国語I (入門)	(1)	朝鮮語IIIi (話す)	(1)
中国語Ii (文法)	(3)	朝鮮語IIIi (書く)	(1)
中国語Ii (読む1)	(1)	朝鮮語IIIi (LL)	(1)
中国語Ii (読む2)	(1)	朝鮮語IIIs (文法)	(1)
中国語Ii (LL)	(1)	朝鮮語IIIs (読む)	(1)
中国語Is (文法)	(1)	朝鮮語IIIs (話す)	(1)
中国語Is (読む)	(1)	朝鮮語IIIs (LL)	(1)
中国語Is (LL)	(1)	朝鮮語IVi (読む1)	(1)
中国語IIIi (文法)	(2)	朝鮮語IVi (読む2)	(1)
中国語IIIi (読む)	(1)	朝鮮語IVi (話す)	(1)
中国語IIIi (話す)	(1)	朝鮮語IVi (書く)	(1)
中国語IIIi (書く)	(1)	朝鮮語IVi (LL)	(1)
中国語IIIi (LL)	(1)	朝鮮語IVs (読む)	(1)
中国語IIIs (文法)	(1)	朝鮮語IVs (話す)	(1)
中国語IIIs (読む)	(1)	朝鮮語IVs (LL)	(1)
中国語IIIs (話す)	(1)	朝鮮語Vi (読む)	(1)
中国語IIIs (LL)	(1)	朝鮮語Vi (話す)	(1)
中国語IVi (読む1)	(1)	朝鮮語Vi (書く)	(1)
中国語IVi (読む2)	(1)	朝鮮語Vi (LL)	(1)
中国語IVi (話す)	(1)	朝鮮語VIi (読む)	(1)
中国語IVi (書く)	(1)	朝鮮語VIi (話す)	(1)
中国語IVi (LL)	(1)	朝鮮語VIi (書く)	(1)
中国語IVs (読む)	(1)	朝鮮語VIi (LL)	(1)
中国語IVs (話す)	(1)	海外語学実習 (朝鮮語)	(2)
中国語IVs (LL)	(1)	古典ギリシア語I (文法)	(1)
中国語Vi (読む)	(1)	古典ギリシア語II (文法)	(1)
中国語Vi (話す)	(1)	古典ギリシア語III (読む)	(1)
中国語Vi (書く)	(1)	古典ギリシア語IV (読む)	(1)
中国語Vi (LL)	(1)	ラテン語I (文法)	(1)
中国語VIi (読む)	(1)	ラテン語II (文法)	(1)
中国語VIi (話す)	(1)	ラテン語III (読む)	(1)
中国語VIi (書く)	(1)	ラテン語IV (読む)	(1)
中国語VIi (LL)	(1)	イタリア語I (文法)	(1)
海外語学実習 (中国語)	(2)	イタリア語I (読む)	(1)
朝鮮語I (入門)	(1)	イタリア語II (文法)	(1)
朝鮮語Ii (文法)	(3)	イタリア語II (読む)	(1)
朝鮮語Ii (読む1)	(1)	日本語I	(1)
朝鮮語Ii (読む2)	(1)	日本語II	(1)

別表第2 (第3条関係)

専門科目

A 文学部英文学科

2004~2013年度入学者

文学部英語英米文学科

() 内は単位数

2014年度入学者

R & R (入門ゼミ)	(1)	イギリス詩 3	(2)
英米文化基礎ゼミ	(1)	イギリス演劇 1	(2)
イギリス研究入門 1	(2)	イギリス演劇 2	(2)
イギリス研究入門 2	(2)	イギリス演劇 3	(2)
イギリス研究入門 3	(2)	イギリス小説 1	(2)
イギリス研究入門 4	(2)	イギリス小説 2	(2)
イギリス研究入門 5	(2)	イギリス小説 3	(2)
アメリカ研究入門 1	(2)	フォークロアの世界 A	(2)
アメリカ研究入門 2	(2)	フォークロアの世界 B	(2)
アメリカ研究入門 3	(2)	イギリス伝承文学 3	(2)
アメリカ研究入門 4	(2)	イギリス伝承文学 4	(2)
英語学研究入門 1	(2)	イギリス文化史	(2)
英語学研究入門 2	(2)	英語圏の文学と芸術 A	(2)
英米文化専門講読 1	(2)	英語圏の文学と芸術 B	(2)
英米文化専門講読 2	(2)	アメリカ文学史	(2)
英米文化専門講読 3	(2)	アメリカ詩 1	(2)
英米文化専門講読 4	(2)	アメリカ詩 2	(2)
英米文化専門講読 5	(2)	アメリカ演劇の世界 A	(2)
英米文化専門講読 6	(2)	アメリカ演劇の世界 B	(2)
英米文化専門講読 7	(2)	アメリカ小説 1	(2)
英米文化専門講読 8	(2)	アメリカ小説 2	(2)
英米文化専門講読 9	(2)	キリスト教と英米文学 1	(2)
英米文化専門講読 10	(2)	キリスト教と英米文学 2	(2)
英米文化専門講読 11	(2)	英語圏文学 B	(2)
英米文化発展ゼミ	(2)	英米文化特論 2	(2)
イギリス史 A	(2)	英米文化特論 3	(2)
イギリス史 B	(2)	英米文化特論 4	(2)
イギリス史 3	(2)	英米文化特論 5	(2)
イギリスの政治と社会 A	(2)	英米文化特論 6	(2)
イギリスの政治と社会 B	(2)	英米芸術史	(2)
イギリスの思想と宗教	(2)	英語圏の映画と映像 A	(2)
イギリス文化論総説 A	(2)	英語圏の映画と映像 B	(2)
現代イギリス論	(2)	英語圏の映画と映像 3	(2)
アメリカ史 1	(2)	英語圏の映画と映像 4	(2)
アメリカ史 2	(2)	英語の歴史 A	(2)
アメリカの政治と社会 A	(2)	英語の歴史 B	(2)
アメリカの政治と社会 B	(2)	英語学 1	(2)
アメリカの思想・宗教 A	(2)	英語学 2	(2)
アメリカの文化 1	(2)	English Linguistics 1	(2)
アメリカの文化 2	(2)	English Linguistics 2	(2)
現代アメリカ論 1	(2)	英語と社会・文化	(2)
現代アメリカ論 2	(2)	英語と社会・文化 2	(2)
カナダの政治と社会	(4)	日英語の発想と表現	(2)
オーストラリア地域文化研究 A	(2)	Thought and Expression in English	(2)
オーストラリア地域文化研究 B	(2)	英語学特論	(2)
イギリス文学史 1 (詩)	(2)	英語学特論 2	(2)
イギリス文学史 2 (劇)	(2)	英語の発音 A	(2)
イギリス文学史 3 (小説)	(2)	英語の発音 B	(2)
イギリス詩 1	(2)	翻訳技法 A	(2)
イギリス詩 2	(2)	翻訳技法 B	(2)

通訳技法 A	(2)
通訳技法 B	(2)
同時通訳技法 A	(2)
同時通訳技法 B	(2)
Academic Writing 1	(2)
Academic Writing 2	(2)
Global Issues 1	(2)
Global Issues 2	(2)
Business Communication 1	(2)
Business Communication 2	(2)
The English-Speaking World A	(2)
The English-Speaking World B	(2)
English for Kids A	(2)
English for Kids B	(2)
Focus on Listening and Reading 1	(2)
Focus on Listening and Reading 2	(2)
Writing Workshop 1	(2)
Writing Workshop 2	(2)
Academic Skills 1	(2)
Academic Skills 2	(2)
英語集中セミナー 1	(1)
英語集中セミナー 2	(1)
カルチュラルスタディーズ A	(2)
カルチュラルスタディーズ B	(2)

古典と表象文化 A	(2)
古典と表象文化 B	(2)
テキスト生成と批評 A	(2)
テキスト生成と批評 B	(2)
ポピュラーカルチャー A	(2)
ポピュラーカルチャー B	(2)
声の文化と文字の文化 A	(2)
声の文化と文字の文化 B	(2)
ジェンダー・フェミニズム批評 A	(2)
ジェンダー・フェミニズム批評 B	(2)
児童文学論 A	(2)
児童文学論 B	(2)
キリスト教と文学	(2)
文学部とキャリア	(2)
英米文化専門ゼミ A	(1)
英米文化専門ゼミ B	(1)
英米文化卒論ゼミ A	(1)
英米文化卒論ゼミ B	(1)
卒業論文	(6)
イギリス現地実習	(2)
アメリカ現地実習	(2)
Spring Abroad	(2)
フィールド・スタディ 1	(1)
フィールド・スタディ 2	(1)

2015年度以降入学者

R & R (入門ゼミ)	(1)
英米文化基礎ゼミ	(1)
イギリス研究入門 1	(2)
イギリス研究入門 2	(2)
イギリス研究入門 3	(2)
イギリス研究入門 4	(2)
イギリス研究入門 5	(2)
アメリカ研究入門 1	(2)
アメリカ研究入門 2	(2)
アメリカ研究入門 3	(2)
アメリカ研究入門 4	(2)
英語学研究入門 1	(2)
英語学研究入門 2	(2)
英米文化専門講読 1	(2)
英米文化専門講読 2	(2)
英米文化専門講読 3	(2)
英米文化専門講読 4	(2)
英米文化専門講読 5	(2)
英米文化専門講読 6	(2)
英米文化専門講読 7	(2)
英米文化専門講読 8	(2)
英米文化専門講読 9	(2)
英米文化専門講読 10	(2)
英米文化専門講読 11	(2)

Academic Writing 1	(2)
Academic Writing 2	(2)
Global Issues 1	(2)
Global Issues 2	(2)
Business Communication 1	(2)
Business Communication 2	(2)
Literature and Culture 1	(2)
Literature and Culture 2	(2)
English for Children 1	(2)
English for Children 2	(2)
英米文化発展ゼミ	(2)
イギリス史 1	(2)
イギリス史 2	(2)
イギリス史 3	(2)
イギリスの政治と社会 1	(2)
イギリスの政治と社会 2	(2)
イギリスの思想と宗教	(2)
イギリスの文化	(2)
現代イギリス論	(2)
アメリカ史 1	(2)
アメリカ史 2	(2)
アメリカの政治と社会 1	(2)
アメリカの政治と社会 2	(2)
アメリカの思想と宗教	(2)

アメリカの文化 1	(2)	English Linguistics 1	(2)
アメリカの文化 2	(2)	English Linguistics 2	(2)
現代アメリカ論 1	(2)	英語と社会・文化 1	(2)
現代アメリカ論 2	(2)	英語と社会・文化 2	(2)
カナダの政治と社会	(4)	日英語の発想と表現	(2)
オーストラリアの社会と文化 1	(2)	Thought and Expression in English	(2)
オーストラリアの社会と文化 2	(2)	英語学特論 1	(2)
イギリス文学史 1 (詩)	(2)	英語学特論 2	(2)
イギリス文学史 2 (劇)	(2)	英語の発音 1	(2)
イギリス文学史 3 (小説)	(2)	英語の発音 2	(2)
イギリス詩 1	(2)	翻訳技法 1	(2)
イギリス詩 2	(2)	翻訳技法 2	(2)
イギリス詩 3	(2)	通訳技法 1	(2)
イギリス演劇 1	(2)	通訳技法 2	(2)
イギリス演劇 2	(2)	同時通訳技法 1	(2)
イギリス演劇 3	(2)	同時通訳技法 2	(2)
イギリス小説 1	(2)	Focus on Listening and Reading 1	(2)
イギリス小説 2	(2)	Focus on Listening and Reading 2	(2)
イギリス小説 3	(2)	Writing Workshop 1	(2)
イギリス伝承文学 1	(2)	Writing Workshop 2	(2)
イギリス伝承文学 2	(2)	Academic Skills 1	(2)
イギリス伝承文学 3	(2)	Academic Skills 2	(2)
イギリス伝承文学 4	(2)	英語集中セミナー 1	(1)
イギリス文化史	(2)	英語集中セミナー 2	(1)
イギリスの文化と芸術 1	(2)	カルチュラルスタディーズA	(2)
イギリスの文化と芸術 2	(2)	カルチュラルスタディーズB	(2)
アメリカ文学史	(2)	古典と表象文化A	(2)
アメリカ詩 1	(2)	古典と表象文化B	(2)
アメリカ詩 2	(2)	テキスト生成と批評A	(2)
アメリカ演劇 1	(2)	テキスト生成と批評B	(2)
アメリカ演劇 2	(2)	ポピュラーカルチャーA	(2)
アメリカ小説 1	(2)	ポピュラーカルチャーB	(2)
アメリカ小説 2	(2)	声の文化と文字の文化A	(2)
キリスト教と英米文学 1	(2)	声の文化と文字の文化B	(2)
キリスト教と英米文学 2	(2)	ジェンダー・フェミニズム批評A	(2)
英米文化特論 1	(2)	ジェンダー・フェミニズム批評B	(2)
英米文化特論 2	(2)	児童文学論A	(2)
英米文化特論 3	(2)	児童文学論B	(2)
英米文化特論 4	(2)	キリスト教と文学	(2)
英米文化特論 5	(2)	文学部とキャリア	(2)
英米文化特論 6	(2)	英米文化専門ゼミ A	(1)
英米芸術史	(2)	英米文化専門ゼミ B	(1)
英語圏の映画と映像 1	(2)	英米文化卒論ゼミ A	(1)
英語圏の映画と映像 2	(2)	英米文化卒論ゼミ B	(1)
英語圏の映画と映像 3	(2)	卒業論文	(6)
英語圏の映画と映像 4	(2)	Summer Abroad (UK)	(2)
英語の歴史 1	(2)	Summer Abroad (US)	(2)
英語の歴史 2	(2)	Spring Abroad	(2)
英語学 1	(2)	Field Study 1	(1)
英語学 2	(2)	Field Study 2	(1)

B 文学部日本文学科

2012～2013年度入学者

文学部日本語日本文学科

2014～2015年度入学者

R & R (入門ゼミ)	(1)	日本語の敬語	(2)
日本語文化基礎ゼミ	(1)	方言と社会言語学	(2)
日本語学概論A	(2)	コンピュータと言語学	(2)
日本語学概論B	(2)	言語と文化	(2)
日本語の歴史A	(2)	日本語教育文法	(2)
日本語の歴史B	(2)	日本語学習のコースデザイン	(2)
日本古典文学史 1	(2)	日本語教育の教材分析A	(2)
日本古典文学史 2	(2)	日本語教授法A	(2)
日本古典文学史 3	(2)	日本語教授法B	(2)
日本古典文学史 4	(2)	音声教育法	(2)
日本近代文学史A	(2)	日本語教育評価法	(2)
日本近代文学史B	(2)	日本語教育のための異文化理解	(2)
漢文学概説A	(2)	第二言語習得論	(2)
漢文学概説B	(2)	地域日本語教育実習	(2)
言語学概説	(2)	年少者日本語教育実習	(2)
基礎論文演習 (文章表現)	(1)	日本語教育実習 1	(1)
書誌学・くずし字の基礎	(2)	日本語教育実習 2	(2)
古典読解の基礎	(2)	神話の世界	(2)
漢文読解の基礎	(2)	古代和歌の世界	(2)
文学理論の基礎	(2)	古代和歌の世界B	(2)
日本史の基礎 (古代～近世)	(2)	物語の世界	(2)
日本史の基礎 (近現代)	(2)	物語の世界B	(2)
日本語資料を読む	(4)	日記の世界	(2)
日本語教育資料を読む	(4)	随筆の世界	(2)
古典文学を読む 1	(4)	軍記の世界	(2)
古典文学を読む 2	(4)	説話の世界	(2)
古典文学を読む 3	(4)	中世和歌の世界	(2)
古典文学を読む 4	(4)	近世小説の世界	(2)
近現代文学を読む 1	(4)	俳諧の世界	(2)
近現代文学を読む 2	(4)	近代小説の世界	(2)
日本語文法研究の方法	(2)	現代小説の世界	(2)
日本語語彙研究の方法	(2)	近現代詩歌の世界	(2)
日本語音声研究の方法	(2)	同時代文学の世界	(2)
方言研究の方法	(2)	能・狂言の世界	(2)
日本語教育研究の方法	(2)	歌舞伎の世界	(2)
上代文学研究の方法	(2)	浄瑠璃の世界	(2)
中古文学研究の方法	(2)	寄席芸能の世界	(2)
中世文学研究の方法	(2)	少女歌劇の世界	(2)
近世文学研究の方法	(2)	近現代演劇の世界	(2)
近現代文学研究の方法	(2)	漢字の世界 1	(2)
漢文学研究の方法	(2)	漢詩漢文の世界 1	(2)
日本語の形態と構文	(2)	日中比較言語・文学の世界	(2)
日本語の意味と語彙	(2)	書道芸術の世界	(2)
日本語の音声とアクセント	(2)	文字と文学	(2)
日本語の文体と語法	(2)	文学と子ども	(2)
日本の漢字と国語辞書	(2)	文学と都市空間	(2)

地域文化を読み解く	(2)
民俗文化を読み解く	(2)
絵巻・絵図を読み解く	(2)
映画・映像を読み解く	(2)
マンガ・アニメ文化を読み解く	(2)
日本伝統文化を学ぶ	(2)
小説創作を学ぶ	(2)
現代詩創作を学ぶ	(2)
短歌・俳句創作を学ぶ	(2)
報道文を学ぶ	(2)
編集を学ぶ	(2)
朗読・アナウンスを学ぶ	(2)
日本語教育学概論A	(2)
日本語教育学概論B	(2)
世界の中の日本文学を学ぶ	(2)
カルチュラルスタディーズA	(2)
カルチュラルスタディーズB	(2)
古典と表象文化A	(2)
古典と表象文化B	(2)

テキスト生成と批評A	(2)
テキスト生成と批評B	(2)
ポピュラーカルチャーA	(2)
ポピュラーカルチャーB	(2)
声の文化と文字の文化A	(2)
声の文化と文字の文化B	(2)
ジェンダー・フェミニズム批評A	(2)
ジェンダー・フェミニズム批評B	(2)
児童文学論A	(2)
児童文学論B	(2)
キリスト教と文学	(2)
文学部とキャリア	(2)
日本言語文化専門ゼミA	(1)
日本言語文化専門ゼミB	(1)
日本言語文化卒論ゼミA	(1)
日本言語文化卒論ゼミB	(1)
卒業論文	(6)
書道A	(1)
書道B	(1)

2016年度以降入学者

R & R (入門ゼミ)	(1)
日本語日本文学基礎ゼミ	(1)
日本語学概論A	(2)
日本語学概論B	(2)
日本語の歴史A	(2)
日本語の歴史B	(2)
日本語教育学概論A	(2)
日本語教育学概論B	(2)
日本古典文学史1	(2)
日本古典文学史2	(2)
日本古典文学史3	(2)
日本古典文学史4	(2)
日本近代文学史A	(2)
日本近代文学史B	(2)
漢文学概説A	(2)
漢文学概説B	(2)
言語学概説	(2)
基礎論文演習 (文章表現)	(1)
書誌学・くずし字の基礎	(2)
古典読解の基礎	(2)
漢文読解の基礎	(2)
文学理論の基礎	(2)
日本史の基礎 (古代～近世)	(2)
日本史の基礎 (近現代)	(2)
日本語日本文学プレ専門ゼミ1	(2)
日本語日本文学プレ専門ゼミ2	(2)
日本語日本文学プレ専門ゼミ3	(2)
日本語日本文学プレ専門ゼミ4	(2)
日本語日本文学プレ専門ゼミ5	(2)
日本語日本文学プレ専門ゼミ6	(2)
日本語日本文学プレ専門ゼミ7	(2)

日本語日本文学プレ専門ゼミ8	(2)
日本語日本文学プレ専門ゼミ9	(2)
日本語文法研究の方法	(2)
日本語語彙研究の方法	(2)
日本語音声研究の方法	(2)
方言研究の方法	(2)
日本語教育研究の方法	(2)
上代文学研究の方法	(2)
中古文学研究の方法	(2)
中世文学研究の方法	(2)
近世文学研究の方法	(2)
近現代文学研究の方法	(2)
漢文学研究の方法	(2)
日本語の形態と構文	(2)
日本語の意味と語彙	(2)
日本語の音声とアクセント	(2)
日本語の文体と語法	(2)
日本の漢字と国語辞書	(2)
日本語の敬語	(2)
方言と社会言語学	(2)
コンピュータと言語学	(2)
言語と文化	(2)
日本語教育文法	(2)
日本語学習のコースデザイン	(2)
日本語教育の教材分析	(2)
日本語教授法A	(2)
日本語教授法B	(2)
音声教育法	(2)
日本語教育のための異文化理解	(2)
第二言語習得論	(2)
地域日本語教育実習	(2)

年少者日本語教育実習	(2)
日本語教育実習 1	(1)
日本語教育実習 2	(2)
神話の世界	(2)
古代和歌の世界A	(2)
古代和歌の世界B	(2)
物語の世界A	(2)
物語の世界B	(2)
日記の世界	(2)
随筆の世界	(2)
軍記の世界	(2)
説話の世界	(2)
中世和歌の世界	(2)
近世小説の世界	(2)
俳諧の世界	(2)
近代小説の世界	(2)
現代小説の世界	(2)
近現代詩歌の世界	(2)
同時代文学の世界	(2)
能・狂言の世界	(2)
歌舞伎の世界	(2)
浄瑠璃の世界	(2)
寄席芸能の世界	(2)
少女歌劇の世界	(2)
近現代演劇の世界	(2)
漢字の世界	(2)
漢詩漢文の世界	(2)
日中比較言語・文学の世界	(2)
書道芸術の世界	(2)
書道A	(1)
書道B	(1)
文字と文学	(2)
文学と子ども	(2)
文学と都市空間	(2)

地域文化を読み解く	(2)
民俗文化を読み解く	(2)
絵巻・絵図を読み解く	(2)
映画・映像を読み解く	(2)
マンガ・アニメ文化を読み解く	(2)
日本伝統文化を学ぶ	(2)
小説創作を学ぶ	(2)
現代詩創作を学ぶ	(2)
短歌・俳句創作を学ぶ	(2)
報道文を学ぶ	(2)
編集を学ぶ	(2)
朗読・アナウンスを学ぶ	(2)
世界の中の日本文学を学ぶ	(2)
カルチュラルスタディーズA	(2)
カルチュラルスタディーズB	(2)
古典と表象文化A	(2)
古典と表象文化B	(2)
テキスト生成と批評A	(2)
テキスト生成と批評B	(2)
ポピュラーカルチャーA	(2)
ポピュラーカルチャーB	(2)
声の文化と文字の文化A	(2)
声の文化と文字の文化B	(2)
ジェンダー・フェミニズム批評A	(2)
ジェンダー・フェミニズム批評B	(2)
児童文学論A	(2)
児童文学論B	(2)
キリスト教と文学	(2)
文学部とキャリア	(2)
日本語日本文学専門ゼミA	(1)
日本語日本文学専門ゼミB	(1)
日本語日本文学卒論ゼミA	(1)
日本語日本文学卒論ゼミB	(1)
卒業論文	(6)

C 文学部コミュニケーション学科

R&R(入門ゼミ)	(1)
コミュニケーション基礎ゼミ	(1)
言語コミュニケーション概論	(2)
社会コミュニケーション概論	(2)
文化コミュニケーション概論	(2)
心理コミュニケーション概論	(2)
コミュニケーション概論A	(2)
コミュニケーション概論B	(2)
コミュニケーション研究方法の全体像	(2)
実験の研究計画をたてる	(2)
アンケート・社会調査の方法	(2)
インタビュー・面接のスキル	(2)
話しことばを分析する	(2)
文献・情報の集め方	(2)
データを数量から読み解く	(2)
フィールドワークとエスノグラフィー	(2)

フィールドワークとライフヒストリー分析を学ぶ	(2)
コミュニケーション学探求 1	(2)
コミュニケーション学探求 2	(2)
コミュニケーション学探求 3	(2)
コミュニケーション学探求 4	(2)
コミュニケーション学探求 5	(2)
コミュニケーション学探求 6	(2)
コミュニケーション学探求 7	(2)
コミュニケーション学探求 8	(2)
コミュニケーション学探求 10	(2)
コミュニケーション学探求 11	(2)
対人コミュニケーションの心理学	(2)
ことばと記号のコミュニケーション	(2)
社会的行為としてのコミュニケーション	(2)
マスコミュニケーションと情報社会	(2)
組織の中の人間関係	(2)

身体としぐさの心理学	(2)	マルチメディアの現在と未来	(2)
英語学研究入門 1	(2)	テキスト分析と物語構造分析を学ぶ	(2)
日本語学概論A	(2)	日本語の意味と語彙	(2)
日本語学概論B	(2)	日本語の敬語	(2)
日本語の歴史A	(2)	ネットワークによるコミュニケーションの構築	(2)
日本語の歴史B	(2)	コンピュータによる調査データの解析A	(2)
日本語の文体と語法	(2)	コンピュータによる調査データの解析B	(2)
日本語の形態と構文	(2)	文献・情報にアクセスする	(2)
日本語文法論とコミュニケーション	(2)	映像取材A	(2)
日本語の音声とアクセント	(2)	映像取材B	(2)
歴史言語コミュニケーション概説	(2)	マルチメディア制作 I (CG・DTP編集) A	(2)
多文化・多言語社会を考える	(2)	マルチメディア制作 I (CG・DTP編集) B	(2)
クレオール文化の考え方・読み方	(2)	マルチメディア制作 II (情報デザイン) A	(2)
先住民族の言語・文化と共生	(2)	マルチメディア制作 II (情報デザイン) B	(2)
ことばと個人・社会の因果関係を探る	(2)	プレゼンテーションの方法A	(2)
英語学特論 1	(2)	プレゼンテーションの方法B	(2)
異文化のコミュニケーション	(2)	取材と記事のレッスン	(2)
文化の心理学	(2)	編集デザインスキル	(2)
これからの多文化教育	(2)	ディベートと自己主張	(2)
アジアとの出会いと異文化体験	(2)	ビジネス・コミュニケーションスキル	(2)
多文化社会の人間学	(2)	コミュニケーションスキルトレーニングの技法	(2)
多文化体験としての都市フィールドワーク	(2)	身体表現論	(2)
異文化トレーニング	(2)	ファッション文化	(2)
ディアスポラ(離散)の思想	(2)	スポーツ文化	(2)
ことばのフィールドワーク	(2)	現代人と宗教	(2)
エスニックマイノリティの問題を考えるA	(2)	映画・映像文化	(2)
エスニックマイノリティの問題を考えるB	(2)	広告とマーケティング	(2)
共生社会論	(2)	英語と社会・文化1	(2)
舞踊の文化人類学	(2)	英語と社会・文化2	(2)
グローバル化する人の移動の社会学	(2)	カルチュラルスタディーズA	(2)
子どもの発達とこれからの教育問題	(2)	カルチュラルスタディーズB	(2)
これからの家族問題A	(2)	古典と表象文化A	(2)
これからの家族問題B	(2)	古典と表象文化B	(2)
健康・医療におけるコミュニケーションの問題	(2)	テキスト生成と批評A	(2)
H I V・難病問題と向き合う	(2)	テキスト生成と批評B	(2)
P T S Dと被害者のグリーンワーク	(2)	ポピュラーカルチャーA	(2)
ジェンダー問題と男女共同参画社会	(2)	ポピュラーカルチャーB	(2)
障害者の心理学と共生社会	(2)	声の文化と文字の文化A	(2)
エイジングの心理学と高齢社会	(2)	声の文化と文字の文化B	(2)
「日本におけるアジア」とのネットワーキング	(2)	ジェンダー・フェミニズム批評A	(2)
ファシリテーターの理論と実践A	(2)	ジェンダー・フェミニズム批評B	(2)
ファシリテーターの理論と実践B	(2)	児童文学論A	(2)
視覚障害の理解と点字の技法A	(2)	児童文学論B	(2)
視覚障害の理解と点字の技法B	(2)	キリスト教と文学	(2)
聴覚障害の理解と手話の技法A	(2)	文学部とキャリア	(2)
聴覚障害の理解と手話の技法B	(2)	コミュニケーション専門ゼミ I A	(1)
共生のフィールドワーク	(4)	コミュニケーション専門ゼミ I B	(1)
メディアリテラシーを身につける	(2)	コミュニケーション専門ゼミ II A	(1)
批評理論	(2)	コミュニケーション専門ゼミ II B	(1)
放送文化と制度を考える	(2)	卒業論文・卒業制作	(6)
新聞・出版ワークショップ	(2)		

D 音楽学部音楽芸術学科

音楽家の基礎知識	(2)	諸民族の音楽A	(2)
音楽基礎理論	(2)	諸民族の音楽B	(2)
合唱ⅠA	(1)	西洋音楽史特殊講義1	(2)
合唱ⅠB	(1)	西洋音楽史特殊講義2	(2)
基礎声楽A	(1)	日本音楽史特殊講義	(2)
基礎声楽B	(1)	ポピュラー音楽史	(2)
基礎ピアノA	(1)	映画・舞台音楽論1	(2)
基礎ピアノB	(1)	映画・舞台音楽論2	(2)
教職のためのピアノA	(1)	現代音楽レパートリー	(2)
教職のためのピアノB	(1)	楽器法	(2)
和声ⅠA	(2)	音楽情報論	(2)
和声ⅠB	(2)	マルチメディア著作権ビジネス	(2)
ソルフェージュ1	(1)	メディア・アート	(2)
ソルフェージュ2	(1)	コンピュータ音楽制作1	(2)
ソルフェージュ3	(1)	コンピュータ音楽制作2	(2)
ソルフェージュ4	(1)	アニメ・ゲーム音楽制作	(2)
ソルフェージュⅠA	(1)	アート・マネジメント	(2)
ソルフェージュⅠB	(1)	環境音楽デザイン	(2)
ソルフェージュⅡA	(1)	舞台制作ワークショップ	(2)
ソルフェージュⅡB	(1)	身体表現ワークショップ1	(2)
賛美歌学	(2)	身体表現ワークショップ2	(2)
キリスト教音楽概論1	(2)	映像音楽制作ワークショップ	(2)
キリスト教音楽概論2	(2)	番組制作ワークショップ	(2)
キリスト教音楽基礎	(2)	音響機器ワークショップ	(2)
キリスト教音楽実践	(2)	録音実技ワークショップ	(2)
キリスト教オルガン音楽研究A	(2)	アナウンス・朗読	(2)
キリスト教オルガン音楽研究B	(2)	ミュージカル・ナンバーを歌う	(1)
和声ⅡA	(2)	日本歌曲・童謡を歌う	(1)
和声ⅡB	(2)	作曲を楽しもうA	(2)
伴奏法A	(1)	作曲を楽しもうB	(2)
伴奏法B	(1)	ポップスを楽しもう	(2)
ジャズ・ポップス入門	(2)	バンドを楽しもう	(2)
対位法A	(2)	アンサンブルを楽しもう	(2)
対位法B	(2)	作・編曲法	(2)
共演芸術A	(2)	コーラス・リーダー・ワークショップA	(2)
共演芸術B	(2)	コーラス・リーダー・ワークショップB	(2)
即興演奏ワークショップ	(2)	合奏	(1)
ジャズ・ヴォーカル・ワークショップ	(2)	指揮法A	(2)
合唱ⅡA	(1)	指揮法B	(2)
合唱ⅡB	(1)	音楽ジャーナリズム	(2)
合唱ⅢA	(1)	訳詞の世界	(2)
合唱ⅢB	(1)	医療と音楽	(2)
作品分析	(2)	心と音楽	(2)
ポピュラー音楽理論	(2)	音楽療法1	(2)
邦楽1	(1)	音楽療法2	(2)
邦楽2	(1)	基礎演習	(1)
編曲のテクニック	(2)	応用演習	(1)
西洋音楽通史	(4)	専門ゼミⅠ	(1)
日本音楽通史	(4)	専門ゼミⅡ	(1)
音楽社会学	(2)	専門ゼミⅢ	(1)

専門ゼミⅣ	(1)
学外公开发表Ⅰ	(1)
学外公开发表Ⅱ	(1)

海外音楽研修	(2)
卒業プロジェクト	(6)
PA教職実技（聴音・音楽理論）	(1)

E 音楽学部演奏学科

専攻実技（声楽）ⅠA	(3)
専攻実技（声楽）ⅠB	(3)
専攻実技（声楽）ⅡA	(3)
専攻実技（声楽）ⅡB	(3)
専攻実技（声楽）ⅢA	(3)
専攻実技（声楽）ⅢB	(3)
専攻実技（声楽）ⅣA	(3)
専攻実技（声楽）ⅣB	(3)
専攻実技（鍵盤楽器）ⅠA	(3)
専攻実技（鍵盤楽器）ⅠB	(3)
専攻実技（鍵盤楽器）ⅡA	(3)
専攻実技（鍵盤楽器）ⅡB	(3)
専攻実技（鍵盤楽器）ⅢA	(3)
専攻実技（鍵盤楽器）ⅢB	(3)
専攻実技（鍵盤楽器）ⅣA	(3)
専攻実技（鍵盤楽器）ⅣB	(3)
専攻実技（弦楽器）ⅠA	(3)
専攻実技（弦楽器）ⅠB	(3)
専攻実技（弦楽器）ⅡA	(3)
専攻実技（弦楽器）ⅡB	(3)
専攻実技（弦楽器）ⅢA	(3)
専攻実技（弦楽器）ⅢB	(3)
専攻実技（弦楽器）ⅣA	(3)
専攻実技（弦楽器）ⅣB	(3)
専攻実技（管楽器）ⅠA	(3)
専攻実技（管楽器）ⅠB	(3)
専攻実技（管楽器）ⅡA	(3)
専攻実技（管楽器）ⅡB	(3)
専攻実技（管楽器）ⅢA	(3)
専攻実技（管楽器）ⅢB	(3)
専攻実技（管楽器）ⅣA	(3)
専攻実技（管楽器）ⅣB	(3)
導入セミナー	(1)
和声ⅠA	(2)
和声ⅠB	(2)
和声ⅡA	(2)
和声ⅡB	(2)
合唱ⅠA	(1)
合唱ⅠB	(1)
合唱ⅡA	(1)
合唱ⅡB	(1)
ソルフェージュⅠA	(1)
ソルフェージュⅠB	(1)
ソルフェージュⅡA	(1)
ソルフェージュⅡB	(1)
演奏のためのからだづくりA	(1)

演奏のためのからだづくりB	(1)
2年次修了公開演奏	(2)
卒業公開演奏	(4)
室内楽の夕べ	(2)
オーケストラ協演の夕べ	(3)
学内公開演奏	(1)
学外公開演奏	(1)
演奏ボランティア	(1)
フェリスプレーヤーズ・オン・ステージ [スタンダード]	(2)
フェリスプレーヤーズ・オン・ステージ [アドヴァンス]	(3)
ピアノ・デュオA	(1)
ピアノ・デュオB	(1)
弦楽アンサンブルA	(2)
弦楽アンサンブルB	(2)
フルートアンサンブルA	(1)
フルートアンサンブルB	(1)
管楽アンサンブルA	(2)
管楽アンサンブルB	(2)
合唱ⅢA	(1)
合唱ⅢB	(1)
室内楽1A	(1)
室内楽1B	(1)
室内楽2A	(1)
室内楽2B	(1)
室内楽3A	(1)
室内楽3B	(1)
室内楽4A	(1)
室内楽4B	(1)
ヴォーカルアンサンブルA	(1)
ヴォーカルアンサンブルB	(1)
バロックアンサンブルA	(1)
バロックアンサンブルB	(1)
伴奏実習	(1)
弦楽レパートリーA	(2)
弦楽レパートリーB	(2)
管楽レパートリーA	(2)
管楽レパートリーB	(2)
ピアノレパートリーA	(1)
ピアノレパートリーB	(1)
バロック鍵盤音楽レパートリーA	(1)
バロック鍵盤音楽レパートリーB	(1)
声楽レパートリー1A	(1)
声楽レパートリー1B	(1)
声楽レパートリー2A	(1)
声楽レパートリー2B	(1)
オペラ演習A	(1)

オペラ演習B	(1)
オラトリオ演習A	(1)
オラトリオ演習B	(1)
キリスト教オルガン音楽実践A	(1)
キリスト教オルガン音楽実践B	(1)
演奏アドヴァンストⅠA	(2)
演奏アドヴァンストⅠB	(2)
演奏アドヴァンストⅡA	(2)
演奏アドヴァンストⅡB	(2)
客員教授特別講義	(2)
西洋音楽通史	(4)
日本音楽通史	(4)
国内音楽研修	(1)
海外音楽研修	(2)
諸民族の音楽A	(2)
諸民族の音楽B	(2)
キリスト教音楽概論1	(2)
キリスト教音楽概論2	(2)
対位法A	(2)
対位法B	(2)
楽曲分析A	(2)
楽曲分析B	(2)
共演芸術A	(2)
共演芸術B	(2)
キリスト教オルガン音楽研究A	(2)
キリスト教オルガン音楽研究B	(2)
現代音楽レパトリー	(2)
アーティストのための身体表現A	(2)
アーティストのための身体表現B	(2)
演奏スペシャル講義1A	(2)
演奏スペシャル講義1B	(2)
演奏スペシャル講義2A	(2)
演奏スペシャル講義2B	(2)
副科ピアノクラスA	(1)

副科ピアノクラスB	(1)
副科声楽クラスA	(1)
副科声楽クラスB	(1)
伴奏法A	(1)
伴奏法B	(1)
ピアノ指導ワークショップA	(2)
ピアノ指導ワークショップB	(2)
幼児リトミック指導ワークショップA	(2)
幼児リトミック指導ワークショップB	(2)
コーラス・リーダー・ワークショップA	(2)
コーラス・リーダー・ワークショップB	(2)
指揮法A	(2)
指揮法B	(2)
作・編曲法	(2)
編曲のテクニック	(2)
キーボードハーモニーA	(2)
キーボードハーモニーB	(2)
邦楽1	(1)
邦楽2	(1)
PA初習副科個人実技A	(1)
PA初習副科個人実技B	(1)
PA副科個人実技A	(2)
PA副科個人実技B	(2)
PA教職副科個人実技A	(1)
PA教職副科個人実技B	(1)
PA第2専攻個人実技A	(3)
PA第2専攻個人実技B	(3)
PA副科グループ実技(バレエ)A	(1)
PA副科グループ実技(バレエ)B	(1)
PA第2専攻グループ実技(バレエ基礎)A	(2)
PA第2専攻グループ実技(バレエ基礎)B	(2)
PA第2専攻グループ実技(バレエ応用)A	(3)
PA第2専攻グループ実技(バレエ応用)B	(3)

F 国際交流学部国際交流学科
2007～2013年度入学者

導入演習	(1)
研究入門 (国際交流学部での学び)	(2)
研究入門 (時事問題を学ぶ)	(2)
研究入門 (歴史から見る現代世界)	(2)
基礎演習	(1)
人文地理学	(2)
自然地理学	(2)
地誌	(2)
地球環境	(2)
環境と開発問題	(2)
中国の環境と開発	(2)
アジアの環境問題1	(2)
アジアの環境問題2	(2)

環境保全行動論	(2)
環境と社会	(2)
ジェンダーと持続可能な開発	(2)
資源問題	(2)
人口問題	(2)
家族計画・保健	(2)
家族・福祉	(2)
格差社会とアイデンティティ	(2)
若者の労働環境	(2)
グリーン経済への転換A	(2)
グリーン経済への転換B	(2)
地域と食文化	(2)
身近な環境を知る	(2)

海外環境フィールド実習	(2)	南アジアの労働	(2)
海外エコツーリズム実習	(2)	アジアの思想・宗教1 (仏教) A	(2)
国際移民・労働移動	(2)	儒教と世界	(2)
在日外国人	(2)	前近代の中国思想	(2)
文化交流論A	(2)	アジアの思想・宗教3 (イスラム)	(2)
文化交流論B	(2)	中国の文化と社会	(2)
余暇と旅行	(2)	アジアの文化1 (文学)	(2)
観光文化論	(2)	アジアの文化2 (芸術) A	(2)
スポーツと国際社会	(2)	アジア現地実習	(2)
比較スポーツ論	(2)	ヨーロッパ近代史	(2)
民族問題	(2)	ヨーロッパ現代史	(2)
文化摩擦	(2)	ヨーロッパ政治の基礎	(2)
平和思想と運動	(2)	ヨーロッパ統合論	(2)
軍縮問題	(2)	ヨーロッパ女性論	(2)
平和構築	(2)	フランスの政治	(2)
人権と世界政治	(2)	フランス現代史	(2)
現代社会を理解するためのジェンダー理論	(2)	ヨーロッパ地域論	(2)
都市生活の空間デザイン	(2)	スペイン現代史	(2)
住空間デザイン	(2)	ヨーロッパ世界の政治と社会3 (ロシア・東欧研究) A	(2)
北ヨーロッパの福祉社会	(2)	ヨーロッパ世界の政治と社会4 (北欧研究) A	(2)
プロジェクトで学ぶ現代社会	(2)	ヨーロッパ世界の思想・宗教1 (キリスト教)	(2)
地域ブランドの育て方	(2)	ヨーロッパ世界の思想・宗教2 (近・現代思潮)	(2)
国際ブランド・ビジネス	(2)	ヨーロッパ世界の文化2 (芸術) A	(2)
地域社会研究B	(2)	ヨーロッパ世界の文化3 (文学と言語) A	(2)
英語文献講読 (地域社会)	(2)	ヨーロッパ世界の文化3 (文学と言語) B	(2)
世界史概説A	(2)	ヨーロッパの文化と社会	(2)
世界史概説B	(2)	ヨーロッパ現地実習	(2)
現代文化論A	(2)	イギリス史A	(2)
現代社会論A	(2)	イギリス史B	(2)
現代社会論B	(2)	イギリス史C	(2)
世界宗教論	(2)	現代イギリス論	(2)
日本史概説A	(2)	イギリスの政治と社会1	(2)
日本史概説B	(2)	イギリスの政治と社会2	(2)
近代日本と国際関係	(2)	イギリスの思想と宗教	(2)
現代日本と国際関係	(2)	イギリス文化論総説A	(2)
日本文化の原風景	(2)	アメリカの文化1	(2)
現代社会に見る日本文化	(2)	アメリカの文化2	(2)
日本の文化交流	(2)	アメリカ史1	(2)
日本の行政・地方自治法A	(2)	アメリカ史2	(2)
日本経済論	(2)	アメリカの政治と社会1	(2)
横浜学総論	(2)	アメリカの政治と社会2	(2)
横浜学実習	(2)	アメリカの思想・宗教A	(2)
アジア近・現代史A	(2)	アメリカと国際経済	(2)
アジア近・現代史B	(2)	現代アメリカ論1	(2)
中国近代史	(2)	現代アメリカ論2	(2)
中国現代史	(2)	Spring Abroad	(2)
韓国現代史	(2)	カナダの政治と社会	(4)
北朝鮮現代史	(2)	ラテンアメリカの歴史と文化	(2)
東南アジアと日本の国際協力	(2)	オーストラリアの社会と文化1	(2)
アジアの政治と社会4 (東南アジア研究2) A	(2)	オーストラリアの社会と文化2	(2)
南アジアの経済	(2)	オーストラリア現地実習	(2)

アフリカの政治と社会	(2)
中東の政治と社会	(2)
国際交流の歴史	(2)
歴史からみるスペイン語圏	(2)
文化交流論	(2)
比較文化論から見た芸能	(2)
翻訳と文化	(2)
歴史からみるフランス	(2)
歴史からみるドイツ	(2)
中国社会の現状を考える	(2)
韓国の文化と社会	(2)
思想文化論	(2)
国際社会研究A	(2)
国際社会研究B	(2)
Globalization Studies	(2)
英語文献講読 (国際社会)	(2)
国際関係論	(2)
国際法A	(2)
国際法B	(2)
比較法	(4)
比較人権論	(2)
比較政治制度論	(2)
国際人権法	(2)
国際政治の基礎	(2)
国際政治の見方	(2)
国際機構と国際平和	(2)
国際機構とグローバル・イシューズ	(2)
国際統合論	(2)
環境と開発問題の平和学	(2)
国際関係史A	(2)
国際関係史B	(2)
日米外交史	(2)
政治思想史A	(2)

政治思想史B	(2)
国際政治経済学A	(2)
国際政治経済学B	(2)
国際経済学	(2)
途上国と開発経済学	(2)
近代グローバル経済の発展	(2)
現代グローバル経済の発展	(2)
政治学概論	(2)
国際ビジネス論A	(2)
企業と社会	(2)
社会学概論A	(2)
社会学概論B	(2)
国際社会学A	(2)
国際社会学B	(2)
開発援助論	(2)
国際開発の理論と実践	(2)
国際協力論	(2)
地域の国際交流・協力	(2)
国際交通論	(2)
社会統計学A	(2)
社会統計学B	(2)
戦争と平和の学説史	(2)
グローバル社会経済論	(2)
情報処理論	(2)
プログラミング入門	(2)
国際情報流通論	(2)
国際情報処理演習	(1)
国際交流への招待	(2)
英語で学ぶ人文科学	(2)
市民参加の社会形成	(2)
専門演習	(1)
卒業論文	(6)

2014年度以降入学者

導入演習	(1)
研究入門 (国際交流学部での学び)	(2)
研究入門 (時事問題を学ぶ)	(2)
研究入門 (歴史から見る現代世界)	(2)
基礎演習	(1)
国際交流への招待	(2)
国際関係論	(2)
人権保障と法	(2)
政治学概論	(2)
近代国際関係史	(2)
戦後国際関係史	(2)
グローバル化と労働	(2)
グローバル化と生活	(2)
社会学概論A	(2)
社会学概論B	(2)
グローバル化する社会	(2)

グローバル経済	(2)
国際交流の歴史	(2)
世界史概説A	(2)
世界史概説B	(2)
世界の宗教	(2)
日本史概説A	(2)
日本史概説B	(2)
日本の文化交流	(2)
日本経済の歴史	(2)
現代の日本経済	(2)
東アジア・東南アジアの近・現代史A	(2)
東アジア・東南アジアの近・現代史B	(2)
ヨーロッパ近代史	(2)
ヨーロッパ現代史	(2)
横浜学総論	(2)
現代社会を理解するためのジェンダー理論	(2)

地球環境	(2)
環境と開発問題	(2)
世界の人口問題	(2)
平和思想と運動	(2)
プロジェクトで学ぶ現代社会	(2)
Current Global Affairs	(2)
Japan Studies	(2)
英語で学ぶグローバル問題	(2)
英語で学ぶ社会科学	(2)
英語で学ぶ人文科学	(2)
統計で学ぶ社会問題 (基礎)	(2)
統計で学ぶ社会問題 (応用)	(2)
ヨーロッパ現地実習	(2)
オーストラリア現地実習	(2)
Spring Abroad	(2)
比較人権論	(2)
比較政治制度論	(2)
国際政治の基礎	(2)
国際政治の見方	(2)
国際機構と国際平和	(2)
国際機構とグローバル・イシューズ	(2)
環境と開発問題の平和学	(2)
国際経済学	(2)
途上国と開発経済学	(2)
近代グローバル経済の発展	(2)
現代グローバル経済の発展	(2)
開発援助論	(2)
国際開発の理論と実践	(2)
戦争と平和の学説史	(2)
国際社会と法	(2)
国際経済と法	(2)
法でみる世界	(4)
地域統合	(2)
日米関係史	(2)
ヨーロッパ政治思想史	(2)
グローバル・ビジネス	(2)
世界の格差と国際協力	(2)
市民社会の国際協力	(2)
地域の国際交流・協力	(2)
近代日本と国際関係	(2)
現代日本と国際関係	(2)
南アジアの経済	(2)
ヨーロッパ政治の基礎	(2)
ヨーロッパ統合論	(2)
フランスの政治	(2)
歴史からみるスペイン語圏	(2)
南アジアの労働	(2)
中国近代史	(2)
中国現代史	(2)
韓国現代史	(2)
北朝鮮現代史	(2)

アジアの国際関係	(2)
東南アジアと日本の国際協力	(2)
アジアの環境問題 1	(2)
アジアの環境問題 2	(2)
アジア現地実習	(2)
ユーラシアの国際関係	(2)
北ヨーロッパの歴史	(2)
イギリスの政治と社会 1	(2)
イギリスの政治と社会 2	(2)
アメリカの政治と社会 1	(2)
アメリカの政治と社会 2	(2)
アメリカと国際経済	(2)
現代アメリカ論 1	(2)
現代アメリカ論 2	(2)
カナダの政治と社会	(4)
アフリカを学ぶ	(2)
中東を学ぶ	(2)
平和構築	(2)
人権と世界政治	(2)
安全保障	(2)
日本政治思想史	(2)
日本文化の原風景	(2)
現代社会に見る日本文化	(2)
儒教と世界	(2)
前近代の中国思想	(2)
フランス現代史	(2)
ラテンアメリカの歴史と文化	(2)
文化交流論	(2)
比較文化論から見た芸能	(2)
翻訳と文化	(2)
歴史からみるフランス	(2)
歴史からみるドイツ	(2)
アジア共同体研究	(2)
メディア文化と社会	(2)
若者の文化と社会	(2)
情報発信と世界	(2)
仏教と世界	(2)
イスラームと世界	(2)
中国の文化と社会	(2)
中国の近現代文学	(2)
中国の文化と芸術	(2)
中国社会の現状を考える	(2)
韓国の文化と社会	(2)
ヨーロッパの文化と社会	(2)
ヨーロッパの文化とジェンダー	(2)
ヨーロッパ地域論	(2)
スペイン現代史	(2)
ヨーロッパ世界とキリスト教	(2)
現代思想論	(2)
思想文化論	(2)
ヨーロッパ世界の芸術	(2)

ラテンアメリカの文学	(2)	自然地理学	(2)
イギリス史1	(2)	地誌	(2)
イギリス史2	(2)	都市生活の空間デザイン	(2)
イギリス史3	(2)	住空間デザイン	(2)
現代イギリス論	(2)	環境共生型ライフスタイル	(2)
イギリスの思想と宗教	(2)	ジェンダーと持続可能な開発	(2)
イギリスの文化	(2)	資源問題	(2)
アメリカの文化1	(2)	身体と生命の社会学	(2)
アメリカの文化2	(2)	現代家族と福祉	(2)
アメリカ史1	(2)	北ヨーロッパの福祉社会	(2)
アメリカ史2	(2)	格差社会とアイデンティティ	(2)
アメリカの思想と宗教	(2)	若者の労働環境	(2)
オーストラリアの社会と文化1	(2)	英語で学ぶグリーン経済と農業	(2)
オーストラリアの社会と文化2	(2)	英語で学ぶグリーン経済とエネルギー	(2)
環境教育の理念と実践	(2)	地域ブランドの育て方	(2)
ロシアと現代中国	(2)	地域と食文化	(2)
近現代中国思想と日本	(2)	中国の環境と開発	(2)
スポーツと国際社会	(2)	農環境体験実習	(2)
比較スポーツ論	(2)	海外環境フィールド実習	(2)
市民参加の社会形成	(2)	海外エコツーリズム実習	(2)
Globalization Studies	(2)	グローバル化する仕事と家族	(2)
企業と社会貢献	(2)	在日外国人	(2)
国際交通ビジネス	(2)	余暇と旅行	(2)
ソーシャルメディアの基礎知識	(2)	観光文化論	(2)
プログラミング入門	(2)	民族問題から見た世界情勢	(2)
情報が世界を変える	(2)	移住と文化の理論	(2)
情報とシステムのセキュリティ	(1)	国際ブランド・ビジネス	(2)
横浜学実習	(2)	専門演習	(1)
地方分権と市民社会	(2)	卒業論文	(6)
人文地理学	(2)		

備考 2014年度入学者に適用する専門科目は、「イギリス史1」は「イギリス史A」、「イギリス史2」は「イギリス史B」、「イギリスの文化」は「イギリス文化論総説A」、「アメリカの思想と宗教」は「アメリカの思想・宗教A」と読み替える。

別表第3（第3条関係）

教職に関する科目

（ ）内は単位数

教職入門	(2)
教育原理	(2)
教育思想	(2)
教育心理学	(2)
教育社会学	(2)
教育課程論	(2)
英語科教育法Ⅰ	(4)
英語科教育法Ⅱ	(4)
国語科教育法Ⅰ	(4)
国語科教育法Ⅱ	(4)
音楽科教育法Ⅰ	(4)
音楽科教育法Ⅱ	(4)
社会・地理歴史科教育法Ⅰ	(2)

社会・地理歴史科教育法Ⅱ	(2)
社会・公民科教育法Ⅰ	(2)
社会・公民科教育法Ⅱ	(2)
道德教育の理論と実践	(2)
特別活動	(2)
教育方法・技術	(2)
生徒・進路指導の理論と方法	(2)
教育相談	(2)
教育実習1	(1)
教育実習2	(2)
教育実習3	(2)
教職実践演習（中・高）	(2)

別表第4（第3条の2関係）

日本語科目及び日本事情に関する科目
（外国人留学生対象）

（ ）内は単位数

留学生日本語Ⅰ	(1)
留学生日本語Ⅱ	(1)

日本事情A	(2)
日本事情B	(2)

別表第5 (第18条関係)

卒業に必要な単位

A 文学部

2004～2013年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備 考
		英文学科	日本文学科	コミュニケーション学 科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を必修とする。 語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
	総合課題科目	2	2	2	
	語 学 科 目	20又は22	10又は22	10又は22	
専門 科目	卒業論文又は卒業論文・卒業制作	6	6	6	
	選択必修科目	32	36	36	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2014年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備 考
		英語 英米文学科	日本語 日本文学科	コミュニケーション学 科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を必修とする。 語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
	総合課題科目	2	2	2	
	語 学 科 目	20又は22	10又は22	10又は22	

専門科目	卒業論文又は卒業論文・卒業制作	6	6	6	
	選択必修科目	32	36	36	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2015年度入学者

区分		卒業に必要な単位数			備考
		英語 英米文学科	日本語 日本文学科	コミュニケーション 学 科	
共通科目	基礎教養科目	2	2	2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を必修とする。 語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
	総合課題科目	2	2	2	
	語学科目	20又は22	10又は22	10又は22	
専門科目	卒業論文又は卒業論文・卒業制作	6	6	6	
	選択必修科目	44	36	36	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2016年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備考
		英語 英米文学科	日本語 日本文学科	コミュニ ケーション 学 科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を修得とする。
	総合課題科目	2	2	2	
	語学科目	20又は22	10又は22	10又は22	語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
専門 科目	卒業論文又は 卒業論文・卒業制作	6	6	6	
	選択必修科目	44	37	36	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2017年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備考
		英語 英米文学科	日本語 日本文学科	コミュニ ケーション 学 科	
共通 科目	CLAコア科目	8	8	8	「キリスト教Ⅰ」2単位及び「キリスト教Ⅱ」、「キリスト教Ⅲ」、「キリスト教Ⅳ」から2単位並びにキリスト教科目以外から4単位を必修とする。
	語学科目	20又は22	10又は22	10又は22	
専門 科目	卒業論文又は 卒業論文・卒業制作	6	6	6	

	選択必修科目	44	37	36	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2018年度以降入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備 考
		英語 英米文学科	日本語 日本文学科	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	
共通 科目	CLAコア科目	8	8	8	「キリスト教Ⅰ」2単位及び「キリスト教Ⅱ」、「キリスト教Ⅲ」、「キリスト教Ⅳ」から2単位並びにキリスト教科目以外から4単位を必修とする。
	語学科目	20又は22	10、16 又は22	10、16 又は22	語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
専門 科目	卒業論文又は 卒業論文・卒業制作	6	6	6	
	選択必修科目	44	37	36	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

B 音楽学部

2011～2013年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		音楽芸術学科	演奏学科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単

	総合課題科目	2	2	位を必修とする。
	語 学 科 目	8	8	語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
専門科目	卒業プロジェクト又は卒業公開演奏	6	6	
	2年次修了公開演奏		3	
	選択必修科目	34	46	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2014～2016年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		音楽芸術学科	演奏学科	
共通科目	基礎教養科目	2	2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を必修とする。
	総合課題科目	2	2	
	語 学 科 目	8	8	
専門科目	卒業プロジェクト又は卒業公開演奏	6	4	
	2年次修了公開演奏		2	
	選択必修科目	34	40	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を			自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

	通じて自由に 選択して取得 した単位数の 合計	124	124	
--	----------------------------------	-----	-----	--

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2017年度以降入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		音楽芸術学科	演奏学科	
共通 科目	CLAコア科目	8	8	「キリスト教Ⅰ」2単位及び「キリスト教Ⅱ」、「キリスト教Ⅲ」、「キリスト教Ⅳ」から2単位並びにキリスト教科目以外から4単位を必修とする。
	語 学 科 目	8	8	
専門 科目	卒業プロジェクト又は卒業公開演奏	6	4	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。
	2年次修了公開演奏		2	
	選択必修科目	34	40	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

C 国際交流学部

2009～2016年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		国際交流学科		
共通 科目	基礎教養科目	2		キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を必修とする。
	総合課題科目	2		
	語 学 科 目	10又は22		語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。

専門 科目	卒業論文	6	卒業論文（6単位）に代えて、指導教員の指定する専門科目（6単位）を修得することができる。
	必修科目	8	
	選択必修科目	32	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2017年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		国際交流学科		
共通 科目	CLAコア科目	8		「キリスト教Ⅰ」2単位及び「キリスト教Ⅱ」、「キリスト教Ⅲ」、「キリスト教Ⅳ」から2単位並びにキリスト教科目以外から4単位を必修とする。
	語 学 科 目	10又は22		
専門 科目	卒業論文	6		卒業論文（6単位）に代えて、指導教員の指定する専門科目（6単位）を修得することができる。
	必修科目	8		
	選択必修科目	32		
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124		自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2018年度以降入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		国際交流学科		
共通 科目	CLAコア科目	8		「キリスト教Ⅰ」2単位及び「キリスト教Ⅱ」、「キリスト教Ⅲ」、「キリスト教Ⅳ」から2単位並びにキ

	語 学 科 目	10、16又は22	リスト教科目以外から4単位を必修とする。 語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
専門 科目	卒 業 論 文	6	卒業論文（6単位）に代えて、指導教員の指定する専門科目（6単位）を修得することができる。
	必 修 科 目	8	
	選択必修科目	32	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

別表第6 (第35条関係)

入学検定料

文 学 部 国際交流学部	35,000円
音 楽 学 部 音楽芸術学科 演奏学科	35,000円 45,000円
大学入試センター 試験利用入学試験 (全学部)	15,000円

備考 入学試験を一次選考と二次選考に分けて実施する場合の入学検定料は、次のとおりとする。

一次選考料 10,000円

二次選考料 表中の入学検定料と一次選考料の差額

別表第7-1 (第36条の4関係)
 学生納付金 (2016年度以前入学者)

A 文学部、国際交流学部

[入学金、学納金]

		前期	後期	備考
入学金		300,000円	————	入学時の手続きのみ
学納金	授業料	355,000円	355,000円	在学中
	実習費	7,500円	7,500円	在学中
	施設設備費	142,500円	142,500円	4年間。 3年次編入学者は2年間。 2年次編入学者は3年間。
納付総額	入学初年度	1,310,000円 (うち入学時 805,000円)		
	入学翌年度以降	1,010,000円		

備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納付額は、在学1学期につき362,500円とする。
- 2 音楽学部開講の実技科目(PA科目)を履修する者の当該学期の納入すべき授業料は、上記授業料にPA科目実技料を加えた額とする。なおPA科目実技料は、音楽学部学納金に定める。

[在籍料]

留学者及び休学者の在籍料は、次のとおりとする。

	前期	後期
留学者	362,500円	362,500円
休学者	181,250円	181,250円

B 音楽学部

[入学金、学納金]

1 音楽芸術学科

		前期	後期	備考
入学金		300,000円	———	入学手続き時のみ
学納金	授業料（基本額）	355,000円	355,000円	在学中
	実習費	27,500円	27,500円	在学中
	施設設備費	220,800円	220,700円	4年間。 3年次編入学者は2年間。
納付総額	入学初年度	1,506,500円（うち入学手続き時 903,300円）		
	入学翌年度以降	1,206,500円		

2 演奏学科

		前期	後期	備考
入学金		300,000円	———	入学手続き時のみ
学納金	授業料（基本額）	590,000円	590,000円	在学中
	実習費	55,000円	55,000円	在学中
	施設設備費	220,800円	220,700円	4年間。 3年次編入学者は2年間。
納付総額	入学初年度	2,031,500円（うち入学手続き時 1,165,800円）		
	入学翌年度以降	1,731,500円		

備考

- 1 納入すべき授業料は、実技科目の履修に応じ、上記授業料（基本額）に次のPA科目実技料を加えた額とする。

個人実技 [1 楽器等あたり]	50,000円（1 単位につき）
グループ実技	30,000円（1 単位につき）

- 2 修業年限を超えて在学する者の納付額は、在学1学期につき音楽芸術学科382,500円、演奏学科645,000円とする。
- 3 演奏学科授業科目「専攻実技IA・B～IVA・B」を再履修する場合、再履修料として1科目につき100,000円を納入しなければならない。ただし、修業年限を超えて在学する者については、別に定める。

[在籍料]

留学者及び休学者の在籍料は、次のとおりとする。

	音楽芸術学科		演奏学科	
	前期	後期	前期	後期
留学者	382,500円	382,500円	645,000円	645,000円
休学者	191,250円	191,250円	322,500円	322,500円

別表第7-2 (第36条の4関係)
 学生納付金 (2017年度以降入学者)

A 文学部、国際交流学部

[入学金、学納金]

		前期	後期	備考
入学金		200,000円	———	入学時の手続きのみ
学納金	授業料	412,500円	412,500円	在学中
	施設設備費	142,500円	142,500円	4年間。 3年次編入学者は2年間。 2年次編入学者は3年間。
納付総額	入学初年度	1,310,000円 (うち入学時 755,000円)		
	入学翌年度以降	1,110,000円		

備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納付額は、在学1学期につき412,500円とする。
- 2 音楽学部開講の実技科目 (PA科目) を履修する者の当該学期の納入すべき授業料は、上記授業料にPA科目実技料を加えた額とする。なおPA科目実技料は、音楽学部学納金に定める。

[在籍料]

留学者及び休学者の在籍料は、次のとおりとする。

	前期	後期
留学者	412,500円	412,500円
休学者	206,250円	206,250円

B 音楽学部

[入学金、学納金]

1 音楽芸術学科

		前期	後期	備考
入学金		200,000円	————	入学手続き時のみ
学納金	授業料（基本額）	432,500円	432,500円	在学中
	施設設備費	220,800円	220,700円	4年間。 3年次編入学者は2年間。
納付総額	入学初年度	1,506,500円（うち入学手続き時 853,300円）		
	入学翌年度以降	1,306,500円		

2 演奏学科

		前期	後期	備考
入学金		200,000円	————	入学手続き時のみ
学納金	授業料（基本額）	695,000円	695,000円	在学中
	施設設備費	220,800円	220,700円	4年間。 3年次編入学者は2年間。
納付総額	入学初年度	2,031,500円（うち入学手続き時 1,115,800円）		
	入学翌年度以降	1,831,500円		

備考

- 1 納入すべき授業料は、実技科目の履修に応じ、上記授業料（基本額）に次のPA科目実技料を加えた額とする。

個人実技 [1 楽器等あたり]	50,000円（1単位につき）
グループ実技	30,000円（1単位につき）

- 2 修業年限を超えて在学する者の納付額は、在学1学期につき音楽芸術学科432,500円、演奏学科695,000円とする。
- 3 演奏学科授業科目「専攻実技ⅠA・B～ⅣA・B」を再履修する場合、再履修料として1科目につき100,000円を納入しなければならない。ただし、修業年限を超えて在学する者については、別に定める。

[在籍料]

留学生及び休学者の在籍料は、次のとおりとする。

	音楽芸術学科		演奏学科	
	前期	後期	前期	後期
留学生	432,500円	432,500円	695,000円	695,000円
休学者	216,250円	216,250円	347,500円	347,500円

別表第8（第43条関係）

科目等履修生受講料等

選考料 （ただし、本学卒業者は無料とする。）	5,000円
登録料・施設設備利用料	5,000円
受講料（1単位につき） 講義科目	5,000円
実習又は演習科目	10,000円
音楽学部実技科目	30,000円
単位認定料（1単位につき） 講義科目	7,500円
実習又は演習科目	15,000円
音楽学部実技科目	20,000円